

福井大学基礎資料

2014



国立大学法人

福井大学

UNIVERSITY OF FUKUI

C O N T E N T S

〔理念・長期目標〕	2
〔沿革〕	3
〔組織〕	8
〔役員及び職員数〕	11
〔役職員等〕	12
〔学生数〕	14
〔入学者状況〕	16
〔卒業生・修了者の進路状況〕	18
〔教育・研究〕	22
〔社会連携〕	26
〔産学官連携〕	27
〔知的財産〕	28
〔国際交流〕	29
〔附属図書館〕	32
〔医学部附属病院〕	33
〔評価〕	34
〔土地・建物〕	35
〔財務〕	36
〔中期目標・中期計画等〕	38

福井大学の理念

福井大学は、学術と文化の拠点として、高い倫理観のもと、人々が健やかに暮らせるための科学と技術に関する世界的水準での教育・研究を推進し、地域、国及び国際社会に貢献し得る人材の育成と、独創的かつ地域の特色に鑑みた教育科学研究、先端科学技術研究及び医学研究を行い、専門医療を実践することを目的としています。

このような理念を踏まえ、福井大学では、次の4点を長期目標として、教育、研究及び社会貢献などを推進します。

◆長期目標

1. 福井大学は、21世紀のグローバル社会において、高度専門職業人として活躍できる優れた人材を育成します。

（福井大学は、国際的な水準の教育を実施し、学生一人ひとりを徹底的に鍛えます。また、学生、教員が共に自己研鑽できる環境を提供し、学生の人間としての成長を積極的に支えることにより、高度な専門性と豊かな社会性を有し、21世紀のグローバル社会において高度専門職業人として活躍できる人材を育成・輩出します。）

2. 福井大学は、教員一人ひとりの創造的な研究を尊重するとともに、本学の地域性等に立脚した研究拠点を育成し、特色ある研究で世界的に優れた成果を発信します。

（福井大学は、教育・医学・工学の分野において、地域で唯一又は最高の教育・研究機関として、教員一人ひとりの自由で創造的な研究を尊重するとともに、伝統や地域特性を活かした研究拠点を育成し、特色ある研究で世界的に優れた成果を発信します。）

3. 福井大学は、優れた教育、研究、医療を通して地域発展をリードし、豊かな社会づくりに貢献します。

（福井大学は、教育を通じた豊かな社会づくりの担い手となる人材の育成、研究を通じた新たな知の獲得や産学官民連携による技術力・社会基盤の強化、また、高度医療の提供や医療人の育成等を通じて、地域社会の発展をリードし、次代の地域社会や国際社会も視野に入れた豊かな社会づくりに貢献します。）

4. 福井大学は、ここで学び、働く人々が誇りと希望を持って積極的に活動するために必要な組織・体制を構築し、社会から頼りにされる元気な大学になります。

（福井大学は、学生・教職員が生き生きと教育・研究・社会貢献に取り組み、その成果を発信できる組織・体制を構築します。同時に、適正な評価に基づいて大学を運営することで社会から付託された大学の使命に対する説明責任を果たし、個性を輝かせ、社会から頼りにされる元気な大学になります。）



語学センター（GlobalHub）



福井メディカルシミュレーションセンター

沿革（旧福井大学まで）

福井師範学校

1873（明治6）/11	小学師範学科
1874（明治7）/4	敦賀県師範学校
1875（明治8）/7	小学授業法伝習所
1877（明治10）/3	石川県第三師範学校 石川県第三女子師範学校 滋賀県小浜伝習学校
1881（明治14）/5	福井県立福井小学師範学校 福井県立小浜小学師範学校
1889（明治22）/1	福井県尋常師範学校
1898（明治31）/4	福井県師範学校
1928（昭和3）/4	福井県福井師範学校 福井県鯖江女子師範学校
1943（昭和18）/4	福井師範学校
1949（昭和24）/5/31	福井大学発足
1951（昭和26）/3	福井師範学校廃止

福井青年師範学校

1938（昭和13）/6	福井県立青年学校教員養成所
1944（昭和19）/4	福井青年師範学校
1949（昭和24）/5/31	福井大学発足
1951（昭和26）/3	福井青年師範学校廃止

福井工業専門学校

1923（大正12）/12/10	福井高等工業学校
1944（昭和19）/4/1	福井工業専門学校
1949（昭和24）/5/31	福井大学発足
1951（昭和26）/3	福井工業専門学校廃止



正門（昭和25年頃）

旧福井大学・旧福井医科大学

1949 (昭和24) /5/31 福井大学発足
 学芸学部設置 (小学校教員養成課程, 中学校教員養成課程, 学芸課程)
 学芸学部附属小学校, 附属中学校設置
 工学部設置 (建築学科, 紡織学科, 繊維染料学科)

1950～

1951 (昭和26) /4/1 工学部機械学科, 電気学科設置
 1956 (昭和31) /4/1 工学専攻科設置
 1959 (昭和34) /4/1 工学部附属繊維工業研究施設設置

1960～

1960 (昭和35) /4/1 工学部応用物理学科設置
 1961 (昭和36) /4/1 工学部機械学科を機械工学科に, 電気学科を電気工学科に改称
 1962 (昭和37) /4/1 工学部工業化学科設置
 工学部紡織学科を繊維工学科に改称
 1963 (昭和38) /3/31 学芸学部学芸課程廃止
 1964 (昭和39) /4/1 学芸専攻科設置
 1965 (昭和40) /3/31 工学専攻科廃止
 /4/1 学芸学部養護学校教員養成課程設置
 大学院工学研究科修士課程 (建築学専攻, 繊維工学専攻, 繊維染料学専攻, 機械工学専攻, 電気工学専攻, 応用物理学専攻)設置
 工学部産業機械工学科設置
 1966 (昭和41) /4/1 学芸学部を教育学部に, 学芸専攻科を教育専攻科に改称
 大学院工学研究科工業化学専攻設置
 1967 (昭和42) /4/1 工学部電子工学科設置
 /6/1 教育学部附属幼稚園設置
 1968 (昭和43) /4/1 工学部建設工学科設置
 1969 (昭和44) /4/1 大学院工学研究科産業機械工学専攻設置

1970～

1971 (昭和46) /4/1 工学部附属超低温物性実験施設設置
 大学院工学研究科電子工学専攻設置
 教育学部附属養護学校設置
 1972 (昭和47) /4/1 保健管理センター設置
 1973 (昭和48) /4/1 大学院工学研究科建設工学専攻設置
 1975 (昭和50) /4/1 工学部情報工学科設置
 1976 (昭和51) /5/10 国立医科大学創設準備室設置
 1977 (昭和52) /4/1 特殊教育特別専攻科設置
 1978 (昭和53) /4/1 国立医科大学創設準備室を福井医科大学創設準備室に改称
 /10/1 福井医科大学設置
 1979 (昭和54) /4/1 大学院工学研究科情報工学専攻設置
 教育学部附属教育実践研究指導センター設置

1980～

1980 (昭和55) /4/1 福井医科大学開学
 工学部附属繊維工業研究施設を附属繊維・機能性材料研究施設に改称
 1983 (昭和58) /4/1 工学部繊維染料学科を応用反応化学科に改組
 1985 (昭和60) /4/1 工学部繊維工学科を高分子工学科に改組
 1986 (昭和61) /4/1 大学院医学研究科博士課程 (形態系専攻, 生理系専攻, 生化系専攻及び生態系専攻)設置
 情報処理センター設置
 1987 (昭和62) /4/1 大学院工学研究科繊維染料学専攻を応用反応化学専攻に改称
 1988 (昭和63) /4/1 教育学部情報社会文化課程設置
 工学部第一次改組 (機械工学科, 電子工学科, 情報工学科)

以降 前半：教育研究組織等
 後半：医学部附属病院

1989 (平成元)	/4/1	工学部第二次改組(環境設計工学科, 材料化学科, 生物化学工学科, 応用物理学科) 大学院工学研究科繊維工学専攻を高分子工学専攻に改称
	/5/29	工学部附属繊維・機能性材料研究施設廃止
	/6/28	医学部附属実験実習機器センター設置
〔医学部附属病院〕		
1981 (昭和56)	/4/1	創設準備室設置
1983 (昭和58)	/4/1	医学部附属病院設置(第一内科, 第二内科, 第三内科, 小児科, 神経科精神科, 皮膚科, 放射線科, 第一外科, 第二外科, 整形外科, 麻酔科, 産科婦人科, 泌尿器科, 眼科, 耳鼻咽喉科, 歯科口腔外科, 検査部, 手術部, 放射線部, 材料部, 薬剤部, 看護部)
1983 (昭和58)	/10/1	医学部附属病院開院
1984 (昭和59)	/4/1	脳神経外科設置
1990～		
1991 (平成3)	/4/12	医学部附属動物実験施設設置
1992 (平成4)	/3/31	教育専攻科廃止
	/4/1	大学院教育学研究科修士課程(学校教育専攻, 障害児教育専攻, 教科教育専攻)設置 大学院工学研究科機械工学専攻, 産業機械工学専攻を機械工学専攻に, 電気工学専攻, 電子工学専攻及び情報工学専攻を電子工学専攻, 情報工学専攻に改組
	/4/10	地域共同研究センター設置
1993 (平成5)	/4/1	大学院工学研究科修士課程を博士前期課程に再編成 大学院工学研究科博士後期課程(物質工学専攻, システム設計工学専攻)設置 技術部発足
1994 (平成6)	/4/1	大学院教育学研究科修士課程(英語教育専修)設置
	/5/20	高エネルギー医学研究センター設置
	/6/24	機器分析センター設置
1995 (平成7)	/4/1	大学院教育学研究科修士課程(美術教育専修)設置
1996 (平成8)	/4/1	大学院教育学研究科修士課程(音楽教育専修, 家政教育専修)設置
1997 (平成9)	/4/1	医学部看護学科設置
1998 (平成10)	/5/6	地域環境研究教育センター設置
1999 (平成11)	/4/1	教育学部を教育地域科学部(学校教育課程, 地域文化課程, 地域社会課程)に改組 特殊教育特別専攻科精神薄弱教育専攻を知的障害教育専攻に改称 福井医科大学保健管理センター設置 工学部を8学科に改組(機械工学科, 電気・電子工学科, 情報・メディア工学科, 建築建設工学科, 材料開発工学科, 生物応用化学科, 物理工学科, 知能システム工学科) 遠赤外領域開発研究センター設置 共通教育センター設置
〔医学部附属病院〕		
1990 (平成2)	/6/8	救急部設置
1993 (平成5)	/4/1	集中治療部設置
1995 (平成7)	/4/1	輸血部設置
1999 (平成11)	/4/1	リハビリテーション部設置
2000～		
2001 (平成13)	/4/1	教育地域科学部附属教育実践研究指導センターを附属教育実践総合センターに改組 大学院医学研究科を大学院医学系研究科に改称, 修士課程看護学専攻設置 総合情報処理センター設置
2002 (平成14)	/4/1	大学院工学研究科に独立専攻(ファイバーアメリティ工学専攻)設置 アドミッションセンター設置
2003 (平成15)	/4/1	大学院工学研究科博士前期課程を改組(機械工学専攻, 電気・電子工学専攻, 情報・メディア工学専攻, 建築建設工学専攻, 材料開発工学専攻, 生物応用化学専攻, 物理工学専攻)し, 知能システム工学専攻設置 留学生センター設置 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー設置
〔医学部附属病院〕		
2000 (平成12)	/4/1	医療情報部設置
2001 (平成13)	/4/1	光学医療診療部設置
2002 (平成14)	/4/1	病理部, 総合診療部設置

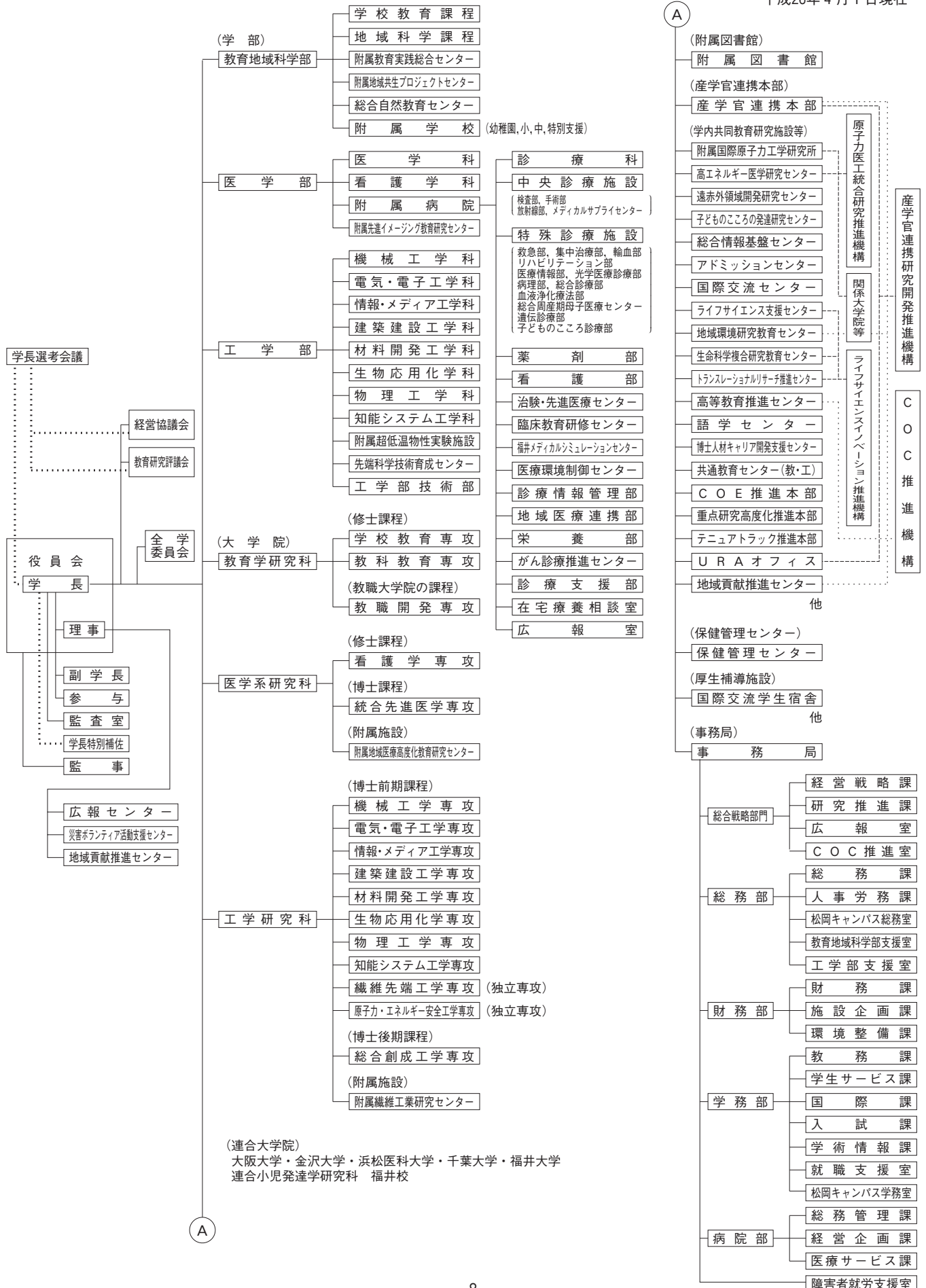
福井大学

2003 (平成15)	/10/1	旧福井大学と旧福井医科大学が統合し、新福井大学が開学 機器分析センター、医学部附属実験実習機器センター、医学部附属動物実験施設及び医学部附属放射性同位元素実験施設を改組し、総合実験研究支援センター設置
2004 (平成16)	/4/1	国立大学法人福井大学が発足し、福井大学を設置 大学院工学研究科に独立専攻(原子力・エネルギー安全工学専攻)設置 広報センター設置 知的財産本部設置
	/10/6	C O E 推進本部設置
2005 (平成17)	/3/9	大型研究プロジェクト推進本部設置 産学官連携推進機構設置
2005 (平成17)	/4/1	生命科学複合研究教育センター設置
	/6/22	災害ボランティア活動支援センター設置
	/12/14	工学部機械実習工場を工学部先端科学技術育成センターに改組
2006 (平成18)	/4/1	地域貢献推進センター設置 技術部を改組し、工学部技術部設置
2007 (平成19)	/2/1	国際交流推進機構設置 教育地域科学部附属養護学校を特別支援学校に名称変更
	/4/1	大学院工学研究科附属繊維工業研究センター設置
	/11/1	産学官連携推進機構(地域共同研究センター、ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー、知的財産本部、大型研究プロジェクト推進本部)及び総合実験研究支援センター理工学研究支援分野を改組し、産学官連携本部設置
2008 (平成20)	/4/1	教育地域科学部地域文化課程、地域社会課程を地域科学課程に改組 大学院教育学研究科修士課程学校教育専攻、障害児教育専攻及び教科教育専攻を、学校教育専攻、教科教育専攻に改組 大学院教育学研究科教職開発専攻(教職大学院)設置 大学院医学系研究科博士課程形態系専攻、生理系専攻、生化学専攻及び生態系専攻を、医科学専攻、先端応用医学専攻に改組
2008 (平成20)	/11/1	総合実験研究支援センターを改組し、ライフサイエンス支援センター設置 トランスレーショナルリサーチ推進センター設置 ライフサイエンスイノベーション推進機構設置
2009 (平成21)	/4/1	附属国際原子力工学研究所設置 保育施設「はなみずき保育園」開園 総合情報処理センターを改組し、総合情報基盤センター設置
	/9/15	高等教育推進センター設置 重点研究高度化推進本部設置
	/9/17	大学院医学系研究科附属子どもの発達研究センター設置
〔医学部附属病院〕		
2004 (平成16)	/10/1	医療環境制御センター設置
2005 (平成17)	/12/1	材料部を改組し、メディカルサプライセンター設置
2006 (平成18)	/4/1	臓器別診療科体制に移行(17診療科を25診療科に) 地域医療連携部設置 栄養部設置 診療情報管理部設置
	/8/1	がん診療推進センター設置
	/12/1	在宅療養相談室設置
2007 (平成19)	/2/1	血液浄化療法部設置
	/4/1	治験・先進医療センター設置
2009 (平成21)	/3/1	診療支援部設置
	/4/1	遺伝診療部設置 臨床教育研修センター設置
2010～		
2010 (平成22)	/1/21	大学院医学系研究科附属看護キャリアアップセンター設置
	/3/31	特殊教育特別専攻科廃止
	/4/1	医学部附属地域医療推進センター設置

2010 (平成22)	/7/31	国際交流推進機構廃止
	/10/1	教育地域科学部附属地域共生プロジェクトセンター設置
2011 (平成23)	/4/1	原子力医工統合研究推進機構設置 語学センター設置
	/4/30	医学部附属地域医療推進センター廃止 大学院医学系研究科附属看護キャリアアップセンター廃止
	/5/1	医学部附属先進イメージング教育研究センター設置 医学部附属地域医療推進センター, 大学院医学系研究科附属看護キャリアアップセンターを改組し, 大学院医学系研究科附属地域医療高度化教育研究センター設置
	/9/16	テニュアトラック推進本部設置
2012 (平成24)	/3/2	附属国際原子力工学研究所を敦賀市に移転し, 「敦賀キャンパス」開設
	/4/1	大学院医学系研究科附属施設の附属子どもの発達研究センターを改組し, 全学施設として子どものこころの発達研究センター設置 大阪大学大学院大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科に参画
	/10/1	U R A オフィス及び産学官連携研究開発推進機構設置 博士人材キャリア開発支援センター設置
2013 (平成25)	/4/1	大学院医学系研究科博士課程医科学専攻及び先端応用医学専攻を統合先進医学専攻に改組 大学院工学研究科博士前期課程ファイバーアアメニティ工学専攻を繊維先端工学専攻に改組 大学院工学研究科博士後期課程物質工学専攻, システム設計工学専攻, ファイバーアアメニティ工学専攻及び原子力・エネルギー安全工学専攻を総合創成工学専攻に改組 留学生センターを国際交流センターに改組
	/9/4	COC 推進機構設置
〔医学部附属病院〕		
2011 (平成23)	/4/1	周産期母子医療センター設置
	/4/1	子どものこころ診療部設置
2012 (平成24)	/8/1	福井県の総合周産期母子医療センターに指定
2013 (平成25)	/4/1	形成外科設置
2014 (平成26)	/4/1	福井メディカルシミュレーションセンター設置

組 織

平成26年4月1日現在



[学 部]

学 部	課程・学科	講 座	専門分野・領域	
教育地域科学部	学校教育課程	言語教育講座	国語学, 国文学, 漢文学, 書道, 国語科教育, 英語学, 英米文学, 英語科教育	
		理数教育講座	代数学, 幾何学, 解析学, 応用数学, 数学科教育, 物理学, 化学, 生物学, 地学, 理科教育	
		芸術・保健体育教育講座	器楽, 声楽, 作曲, 音楽科教育, 絵画, 彫塑, 構成, 美術科教育, 体育史, 体育学, 運動学, 保健体育科教育	
		生活科学教育講座	電気, 機械, 情報技術, 技術科教育, 食物学, 被服学, 保育学, 家庭科教育	
		社会系教育講座	歴史学, 地理学, 法学, 経済学, 哲学, 倫理学, 社会科教育	
		発達科学講座	教育学, 教育方法学, 教育社会学, 教育心理学, 発達心理学, 障害児教育, 障害児心理, 障害児病理, 学校経営学	
	地域科学課程	地域政策講座	法律学, 政治学, 社会学, 経済政策, 経営情報学, 家庭管理, 地理学, 住居学, 生物学, 環境科学, 統計学, 情報技術	
		人間文化講座	音楽学, 美術理論・美術史, 生涯学習, 博物館学・地域文化マネジメント, 生理学及び衛生学, 教育心理学, スポーツ科学・生涯スポーツ論, 中国語, 言語学, 英語学, 英米文学, 英語コミュニケーション, 独語, 仏語	
医学部	医学科	形態機能医科学講座	行動基礎科学, 運動・スポーツ医学, 人体解剖学・神経科学, 組織細胞形態学・神経科学, 分子生理学, 統合生理学	
		病因病態医学講座	腫瘍病理学, 分子病理学, ゲノム科学・微生物学, 免疫学・寄生虫学	
		生命情報医科学講座	医用統計学・数学, 生命物質科学, 分子生命化学, 病態遺伝生化学, 分子遺伝学, 分子生体情報学, 薬理学	
		国際社会医学講座	医療倫理学, 医療経済学, 応用言語学(医学英語), 医療人文学, 高次脳機能, 環境保健学, 法医学・人類遺伝学, 医療倫理・医療安全学	
		病態制御医学講座	内科学(1), 内科学(2), 内科学(3), 腎臓病態内科学, 循環器内科学, 小児科学, 精神医学, 救急医学	
		器官制御医学講座	外科学(1), 外科学(2), 整形外科, 麻酔・蘇生学, 産科婦人科学, 泌尿器科学	
		感覚運動医学講座	皮膚科学, 脳脊髄神経外科学, 眼科学, 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学, 歯科口腔外科学	
		病態解析医学講座	放射線医学, 検査医学	
		(寄附講座) 地域プライマリケア講座	地域医療学	
		(寄附講座) 地域医療推進講座	総合診療学, 地域医療学	
		(寄附講座) 地域高度医療推進講座	地域医療学	
		(がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン)	腫瘍病態治療学講座	腫瘍病態治療学
		看護学科	基礎看護学講座	基礎看護学, 生命基礎科学, 健康科学
	臨床看護学講座		成人・老年看護学, 母子看護学・助産学, 災害看護学	
地域看護学講座	地域看護学, 精神看護学, 環境科学			
工学部	機械工学科	機能創成工学, 熱流体システム, システム制御工学	機械材料, 材料力学, 設計, 加工, 熱工学, 流体工学, 振動工学, 制御工学, システム工学	
	電気・電子工学科	電子物性, エネルギー工学, システム工学	電子材料デバイス, 量子・光エレクトロニクス, 電気エネルギー, 電力システム, システム制御, 情報通信システム	
	情報・メディア工学科	情報・メディア工学	情報科学, 暗号, 通信, 信号処理, データベース, 画像処理, コンピュータ工学	
	建築建設工学科	環境構造工学, 都市建築設計	建築構造工学, 環境防災工学, 建築設計, 地域都市計画	
	材料開発工学科	エネルギー・物質変換化学, インテリジェント材料, 生産加工プロセス	化学, 材料化学, 材料工学, プロセス工学	
	生物応用化学科	生物応用化学	生物有機化学, 高分子化学, 分子機能化学, 応用物理化学, 物質機能化学, 生物化学, 分子生物物理, 生物プロセス工学, 生命機能工学	
	物理工学科	数理・量子科学, 物性・電磁物理, 分子科学	原子核・素粒子物理学, 物性理論, 宇宙論, 量子情報, 数学, 電磁波工学, 磁性, レーザー光学, 放射線物理, 分子シミュレーション, 電気化学, 非結晶材料	
	知能システム工学科	知能創成, 未来システム創造	脳神経科学, 非線形科学, 制御工学, ロボット工学, 人工知能, 知識情報, 電子化学, 生体医学	

〔大学院〕

研究科	課程	専攻	領域・講座等
教育学研究科	修士課程	学校教育専攻 教科教育専攻	国語教育領域，社会科教育領域，数学教育領域，理科教育領域，芸術教育領域，保健体育教育領域，生活科学教育領域，英語教育領域
	教職大学院の課程	教職開発専攻	教育学，教育実践史，幼児教育，教育臨床心理学，社会教育学，障害児教育・教師教育，特別支援教育，コミュニティとしての学校と教師の力量形成，カリキュラム・授業改革，教育行政マネジメント
医学系研究科	修士課程	看護学専攻	基礎・地域看護学，成人・老年看護学，母子看護学，災害看護学
	博士課程	統合先進医学専攻	医科学，先端応用医学(腫瘍医学，器官再生医学，病態情報解析医学)，地域総合医療学
工学研究科	博士前期課程	機械工学専攻	機能創成工学，熱流体システム，システム制御工学
		電気・電子工学専攻	電子物性，エネルギー工学，システム工学
		情報・メディア工学専攻	情報・メディア工学
		建築建設工学専攻	環境構造工学，都市建築設計
		材料開発工学専攻	エネルギー・物質変換化学，インテリジェント材料，生産加工プロセス
		生物応用化学専攻	生物応用化学
		物理学専攻	数理・量子科学，物性・電磁物理，分子科学
		知能システム工学専攻	知能創成，未来システム創造
		繊維先端工学専攻	繊維先端工学
		(連携講座)	繊維産業工学
		原子力・エネルギー安全工学専攻	原子力工学，エネルギー安全工学
		(連携講座)	原子力発電安全工学，プラントシステム安全工学
	博士後期課程	総合創成工学専攻	物理学，分子工学，生物応用化学，物質加工学，知識情報システム，電子システム，エネルギーシステム，建築都市システム，繊維先端工学，原子力・エネルギー安全工学

〔学内共同教育研究施設〕

学内共同教育研究施設	部 門 等		
附属国際原子力工学研究所	原子炉物理学部門		
	原子炉熱水力部門		
	原子炉燃焼材料部門		
	原子炉構造システム・廃止措置部門	廃止措置	
		廃棄物処理・処分	
		耐震・耐津波	
		システム設計	
	原子力防災・危機管理部門	シビアアクシデント評価	
		危機管理	
		放射線計測・防護	
基準・規則国際化			
原子力シビアアクシデント評価部門		(寄附研究部門)	
国際交流・人材育成推進部門			
高エネルギー医学研究センター	分子イメージング展開領域	生体機能解析学部門	
		脳神経病態解析学部門	
		P E T 薬剤製造学部門	
	分子プローブ開発応用領域	分子プローブ設計学部門	
		細胞機能解析学部門	
		P E T 工学部門	
	(寄附研究部門)		
がん病態制御・治療領域	がん病態制御・治療部門		
	国際画像医学研修部門 (寄附研究部門)		
遠赤外領域開発研究センター	基礎研究部門	遠赤外基礎技術	
		遠赤外応用技術	
		遠赤外新技術	
		遠赤外超低温物性研究	
		高出力テラヘルツ技術	
	国際連携研究部門		
	客員研究部門	遠赤外応用・分光	
		遠赤外デバイス	
	協力研究部門	遠赤外物性	
		遠赤外レーザー応用	
遠赤外素材評価			
子どものこころの発達研究センター	こころの形成発達研究部門		
	発達脳機能イメージング部門		
	こころの発達開拓部門		
	こころの地域ネットワーク支援室		
	Age2企画		
総合情報基盤センター	情報サービス推進部門		
	情報ネットワーク運用部門		
	情報セキュリティ管理部門		
アドミッションセンター			
国際交流センター	国際教育部門	日本語教育部	
		グローバル人材育成部	
国際連携部門			
ライフサイエンス支援センター	生物資源部門		
	バイオ実験機器部門		
	放射性同位元素実験部門		

役員及び職員数

〔役員数〕

平成26年5月1日現在

学 長	理 事	監 事	合 計
1	6(2)	2(1)	9(3)

() 内は非常勤で内数

〔職員数〕

平成26年5月1日現在

区 分	教 授		准 教 授		講 師		助 教		助 手		教 諭		養 護 教 諭		栄 養 教 諭		計	事 務 等 職 員		合 計	特 別 雇 用 職 員
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		男	女		
事 務 局																	0	148	122	270	19
教 育 地 域 学 部	31	8	21	9	6	2				3							80	1		81	5
教育地域科学部附属教育実践総合センター			2	2													4			4	
教育地域科学部附属地域共生プロジェクトセンター							1	1									2			2	
大学院教育学研究科	5		8	3		1											17			17	5
教育地域科学部附属幼稚園												6		1			7			7	2
教育地域科学部附属小学校											10	6		1	1		18			18	
教育地域科学部附属中学校											12	6		1			19			19	
教育地域科学部附属特別支援学校											12	15		1	1		29			29	2
小 計	36	8	31	14	6	3	1	1	0	3	34	33	0	4	0	2	176	1	0	177	14
医 学 部	39	4	28	6	6	6	49	20		1							159	7	6	172	20
医学部附属病院	5		7		29	1	43	10									95	126	668	889	19
小 計	44	4	35	6	35	7	92	30	0	1							254	133	674	1,061	39
工 学 部 技 術 部																	0	18	3	21	
大学院工学研究科	63		60	2	8		4										137			137	10
小 計	63	0	60	2	8	0	4	0	0	0							137	18	3	158	10
産 学 官 連 携 本 部	1		2														3			3	4
附属国際原子力工学研究所	7		2														9			9	10
高エネルギー医学研究センター	2		1				2										5			5	2
遠赤外線開発研究センター	4		3														7			7	2
子どものこころの発達研究センター	1	1															2			2	10
総合情報基盤センター			1														1			1	1
アドミッションセンター	1																1			1	
国際交流センター	3		1	1													5			5	
ライフサイエンス支援センター			1						2	1							4			4	
語 学 セ ン タ ー	1	1			1			1									4			4	12
テニユアトラック推進本部					1	1	3	2									7			7	1
保 健 管 理 セ ン タ ー	1		1			1											3			3	
高等教育推進センター																	0			0	1
博士人材キャリア開発支援センター																	0			0	2
男女共同参画推進センター																	0			0	1
合 計	164	14	138	23	51	12	102	34	2	5	34	33	0	4	0	2	618	300	799	1,717	128

役職員等

平成26年5月1日現在

〔役員〕

学長	眞 弓 光 文
理事(教育・学生)副学長	寺 岡 英 男
理事(研究・国際)副学長	岩 井 善 郎
理事(企画・財務戦略)副学長	上 田 孝 典
理事(経営・大学改革)事務局長	高 梨 桂 治
理事(非常勤)	前 田 征 利
理事(非常勤)	吉 村 融
監事	舟 木 幸 雄
監事(非常勤)	福 島 一 政

〔副学長〕

副学長	医療	(医学部附属病院長)	和 田 有 司
-----	----	------------	---------

〔参与〕

参与		本 多 宏
----	--	-------

〔学部長等〕

学部長	教育地域科学部長	中 田 隆 二
	医学部長	山 口 明 夫
	工学部長	小野田 信 春
医学部附属病院長		和 田 有 司
大学院研究科長	教育学研究科長	中 田 隆 二
	医学系研究科長	山 口 明 夫
	工学研究科長	小野田 信 春
附属図書館長	(総合図書館長)	寺 尾 健 夫
	(医学図書館長)	石 崎 武 志
産学官連携本部長		米 沢 晋

〔学長特別補佐〕

学長特別補佐	教育地域科学部	木 村 亮
		柳 澤 昌 一
		松 木 健 一
	医学部	内 木 宏 延
		安 田 年 博
	工学部	小 嶋 啓 介
		福 井 一 俊
		明 石 行 生

〔施設長等〕

学内共同教育研究施設等の長		
附属国際原子力工学研究所長		安濃田 良 成
高エネルギー医学研究センター長		岡 沢 秀 彦
遠赤外領域開発研究センター長		谷 正 彦
子どものこころの発達研究センター長		佐 藤 真
総合情報基盤センター長		細 田 陽 介
アドミッションセンター長	(副学長(教育・学生))	寺 岡 英 男
国際交流センター長	(副学長(研究・国際))	岩 井 善 郎
ライフサイエンス支援センター長		定 清 直
地域環境研究教育センター長		山 本 博 文
生命科学複合研究教育センター長	(副学長(企画・財務戦略))	上 田 孝 典
トランスレーショナルリサーチ推進センター長		宮 本 薫
高等教育推進センター長	(副学長(教育・学生))	寺 岡 英 男
語学センター長		Albert J. Lehner, Jr.
原子力医工統合研究推進機構長	(副学長(企画・財務戦略))	上 田 孝 典
ライフサイエンスイノベーション推進機構長	(副学長(企画・財務戦略))	上 田 孝 典
産学官連携研究開発推進機構長	(副学長(研究・国際))	岩 井 善 郎
COO推進機構長	(学長)	眞 弓 光 文
博士人材キャリア開発支援センター長	(副学長(教育・学生))	寺 岡 英 男
共通教育センター長		横 井 正 信
広報センター長	(副学長(企画・財務戦略))	上 田 孝 典
COE推進本部長	(学長)	眞 弓 光 文
重点研究高度化推進本部長	(学長)	眞 弓 光 文
テニュアトラック推進本部長	(学長)	眞 弓 光 文
URAOフィス所長		鷲 田 弘
災害ボランティア活動支援センター長	(副学長(研究・国際))	岩 井 善 郎
地域貢献推進センター長	(副学長(研究・国際))	岩 井 善 郎
男女共同参画推進センター長	(副学長(企画・財務戦略))	上 田 孝 典
保健管理センター所長	(副学長(企画・財務戦略))	上 田 孝 典
情報化統括責任者(CIO)	(副学長(研究・国際))	岩 井 善 郎

学部附属教育研究施設等の長			
教育地域科学部附属学校(園)長	附属幼稚園長	澤崎久和	
	附属小学校長	大山利夫	
	附属中学校長	宮崎光二	
	附属特別支援学校長	石井パークマン麻子	
教育地域科学部附属教育実践総合センター長		三好修一郎	
教育地域科学部附属地域共生プロジェクトセンター長		岡崎英一	
教育地域科学部総合自然教育センター長		山本博文	
医学部附属先進イメージング教育研究センター長		木村浩彦	
医学系研究科附属地域医療高度化教育研究センター長		山口明夫	
工学部附属超低温物性実験施設長		光藤誠太郎	
工学部先端科学技術育成センター長		大津雅亮	
工学部技術部長		小野田信春	
工学研究科附属繊維工業研究センター長		宮崎孝司	
学部の学科長	医学部	医学科長 看護学科長	老木成稔 酒井明子
	大学院の専攻長 (工学研究科にあっては、 工学部学科長を兼務)	教育学研究科教職大学院の課程 工学研究科博士前期課程 (工学部)	教職開発専攻長 機械工学専攻長 電気・電子工学専攻長 情報・メディア工学専攻長 建築建設工学専攻長 材料開発工学専攻長 生物応用化学専攻長 物理工学専攻長 知能システム工学専攻長 繊維先端工学専攻長 原子力・エネルギー安全工学専攻長 総合創成工学専攻長
工学研究科博士後期課程			

〔経営協議会〕

役職指定の委員	学長, 理事(教育・学生), 理事(研究・国際), 理事(企画・財務戦略), 理事(経営・大学改革), 教育地域科学部長, 医学部長, 工学部長, 医学部附属病院長	
学外有職者	日華化学(株)代表取締役社長	江守康昌
	セーレン(株)代表取締役会長 兼 社長 福井県商工会議所連合会会頭	川田達男
	(独)国立科学博物館顧問	佐々木正峰
	滋賀県立成人病センター総長 兼 病院長	笹田昌孝
	福井県副知事	杉本達治
	福井テレビジョン放送(株)代表取締役会長	山崎幸雄
	十文字学園女子大学長	横須賀薫
	前 本田技研工業(株)特別顧問(元 取締役相談役)	吉野浩行
	(独)放射線医学総合研究所理事長	米倉義晴
	奈良教育大学理事(非常勤)	鷲山恭彦

〔教育研究評議会〕

役職指定の委員	学長, 理事(教育・学生), 理事(研究・国際), 理事(企画・財務戦略), 理事(経営・大学改革), 教育地域科学部長, 医学部長, 工学部長, 附属図書館長, 医学部附属病院長	
学部の教員	教育地域科学部	伊藤勇
		岡崎英一
		横井正信
	医学部	内木宏延
		安田年博
		酒井明子
	工学部	末信一郎
松下聡		
学長指名の教員	(産学官連携本部長)	米沢晋
	(学長特別補佐)	松木健一
	(ライフサイエンス支援センター長)	定清直

〔事務局部長〕

大学改革推進部長	窪田昭一
総務部長	内藤雷太
財務部長	川尻秀行
学務部長	高田洋一
病院部長	三澤和男

学生数

〔学部〕

平成26年5月1日現在

学部	課程・学科	定 員				現 員							学生定員 充足率 (B)/(A)
		入学 定員	2年次 後期 編入学	3年次 編入学	収容 定員 (A)	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	合 計 (B)	
教育学 地域科学部	学校教育課程	100			400	105	106	106	133			450	112.5%
	地域社会課程	—			—	0	0	0	1			1	—
	地域科学課程	60			240	63 (1)	62	65 (1)	69 (1)			259 (3)	107.9%
	小 計	160			640	168 (1)	168	171 (1)	203 (1)			710 (3)	110.9%
医学部	医 学 科	110	5		680	111	115	123	117	102	113	681	100.1%
	看 護 学 科	60		10	260	60	61	61	69			251	96.5%
	小 計	170	5	10	940	171	176	184	186	102	113	932	99.1%
工学部	機 械 工 学 科	75		5	310	78 (2)	81 (1)	86 (8)	115 (5)			360 (16)	116.1%
	電 気・電 子 工 学 科	64		5	266	68	71 (2)	76 (6)	104 (10)			319 (18)	119.9%
	情 報・メ デ ィ ア 工 学 科	65		10	280	68	69 (3)	68 (1)	104 (1)			309 (5)	110.4%
	建 築 建 設 工 学 科	65		10	280	71	65	75 (2)	120 (5)			331 (7)	118.2%
	材 料 開 発 工 学 科	75			300	78	81 (2)	81 (2)	112 (2)			352 (6)	117.3%
	生 物 応 用 化 学 科	65			260	67	67	72	86 (1)			292 (1)	112.3%
	物 理 工 学 科	51			204	51	59	56	66			232	113.7%
	知 能 シ ス テ ム 工 学 科	65			260	68 (1)	67	73	88			296 (1)	113.8%
	小 計	525		30	2,160	549 (3)	560 (8)	587 (19)	795 (24)			2,491 (54)	115.3%
合 計	855	5	40	3,740	888 (4)	904 (8)	942 (20)	1,184 (25)	102	113	4,133 (57)	110.5%	

() 内は外国人留学生で内数

〔大学院〕

平成26年5月1日現在

研究科	課 程	専 攻	定 員		現 員					学生定員 充足率 (B)/(A)	
			入学定員	収容定員 (A)	1年次	2年次	3年次	4年次	合 計 (B)		
教育学 研究科	修 士 課 程	学 校 教 育 専 攻	12	24	7	12 (2)				19 (2)	79.2%
		教 科 教 育 専 攻	25	50	22 (2)	30 (2)				52 (4)	104.0%
		小 計	37	74	29 (2)	42 (4)				71 (6)	95.9%
	教職大学院の課程	教 職 開 発 専 攻	30	60	27	33				60	100.0%
小 計		30	60	27	33				60	100.0%	
計		67	134	56 (2)	75 (4)				131 (6)	97.8%	
医学系 研究科	修 士 課 程	看 護 学 専 攻	12	24	14	16				30	125.0%
		小 計	12	24	14	16				30	125.0%
	博 士 課 程	形 態 系 専 攻	—	—	0	0	0	1		1	—
		生 理 系 専 攻	—	—	0	0	0	2		2	—
		生 化 系 専 攻	—	—	0	0	0	2		2	—
		医 科 学 専 攻	—	10	0	0	3 (1)	1		4 (1)	40.0%
		先 端 応 用 医 学 専 攻	—	50	2	7	25	36 (1)		70 (1)	140.0%
	統 合 先 進 医 学 専 攻	25	50	26 (2)	12 (2)				38 (4)	76.0%	
小 計	25	110	28 (2)	19 (2)	28 (1)	42 (1)		117 (6)	106.4%		
計	37	134	42 (2)	35 (2)	28 (1)	42 (1)		147 (6)	109.7%		
工学 研究科	博 士 前 期 課 程	機 械 工 学 専 攻	32	64	38 (5)	42 (5)				80 (10)	125.0%
		電 気・電 子 工 学 専 攻	30	60	42 (2)	30				72 (2)	120.0%
		情 報・メ デ ィ ア 工 学 専 攻	31	62	41 (3)	25 (1)				66 (4)	106.5%
		建 築 建 設 工 学 専 攻	28	56	31 (1)	15 (2)				46 (3)	82.1%
		材 料 開 発 工 学 専 攻	24	48	27 (2)	37 (4)				64 (6)	133.3%
		生 物 応 用 化 学 専 攻	21	42	21 (1)	25				46 (1)	109.5%
		物 理 工 学 専 攻	18	36	18 (3)	15 (1)				33 (4)	91.7%
		知 能 シ ス テ ム 工 学 専 攻	27	54	24 (2)	30 (3)				54 (5)	100.0%
		フ ァ イ バ ー ア メ ニ テ ィ 工 学 専 攻	—	—	0	3				3	—
		繊 維 先 端 工 学 専 攻	15	30	16	14				30	100.0%
	原 子 力・エ ネ ル ギ ー 安 全 工 学 専 攻	27	54	29 (3)	30 (1)				59 (4)	109.3%	
	小 計	253	506	287 (22)	266 (17)				553 (39)	109.3%	
	博 士 後 期 課 程	物 質 工 学 専 攻	—	6	0	1 (1)	14 (6)			15 (7)	250.0%
		シ ス テ ム 設 計 工 学 専 攻	—	7	0	1 (1)	16 (4)			17 (5)	242.9%
フ ァ イ バ ー ア メ ニ テ ィ 工 学 専 攻		—	15	0	2 (2)	7 (1)			9 (3)	60.0%	
原 子 力・エ ネ ル ギ ー 安 全 工 学 専 攻		—	12	0	0	10 (3)			10 (3)	83.3%	
総 合 創 成 工 学 専 攻		22	44	27 (5)	26 (1)	0			53 (6)	120.5%	
小 計	22	84	27 (5)	30 (5)	47 (14)			104 (24)	123.8%		
計	275	590	314 (27)	296 (22)	47 (14)			657 (63)	111.4%		
合 計	379	858	412 (31)	406 (28)	75 (15)	42 (1)		935 (75)	109.0%		

() 内は外国人留学生で内数

〔研究生・科目等履修生等〕

平成26年5月1日現在

区 分	教育地域科学部	医 学 部	工 学 部	教育学研究科	医学系研究科	工学研究科	合 計
研 究 生	1		3 (3)	4 (4)	7	1	16 (7)
科目等履修生	6 (3)			1			7 (3)
特別研究学生					1		1
特別聴講学生	28 (28)		14 (14)	2 (2)		1 (1)	45 (45)
計	35 (31)	0	17 (17)	7 (6)	8	2 (1)	69 (55)

() 内は外国人留学生で内数

〔大阪大学大学院 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科〕

平成26年5月1日現在

区 分	1 年 次	2 年 次	3 年 次	合 計
在 学 者 数	2(2)	6(2)	3(1)	11(5)

() 内は女子で内数

教育地域科学部附属学校園

〔園児・児童・生徒の定員・現員及び学級数〕

平成26年5月1日現在

校 名	教育地域科学部附属幼稚園				教育地域科学部附属小学校								教育地域科学部附属中学校			
	3歳児	4歳児	5歳児	計	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	計	
学 年	2	2	2	6	2	2	2	2	2	2	12	3	3	3	9	
学級数	2	2	2	6	2	2	2	2	2	2	12	3	3	3	9	
定 員	40	50	50	140	70	70	70	80	80	80	450	120	120	120	360	
現 員	33	41	39	113	69	66	68	69	68	71	411	120	118	113	351	

校 名	教育地域科学部附属特別支援学校												合 計
	小 学 部				中 学 部				高 等 部				
	低	中	高	計	中1	中2	中3	計	高1	高2	高3	計	
学 年	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	9
学級数	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	9
定 員	6	6	6	18	6	6	6	18	8	8	8	24	60
現 員	6	6	5	17	6	7	5	18	8	8	6	22	57

入学者状況

〔学 部〕

平成26年度

学部	課程・学科	コ ー ス	入学定員 (A)	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数 (B)	入学定員 充足率 (B)/(A)
教育地域科学部	学校教育課程	言語教育	20	80	50	22	20	100.0%
		理数教育	20	40	35	21	20	100.0%
		芸術・保健体育教育	15	66	62	17	17	113.3%
		生活科学教育	10	39	21	12	11	110.0%
		社会系教育	10	33	23	11	10	100.0%
		教育実践科学	7	33	22	8	8	114.3%
		臨床教育科学	8	115	81	9	8	100.0%
	障害児教育	10	77	63	11	11	110.0%	
	地域科学課程		60	184	116	68	63 (1)	105.0%
	計		160	667	473	179	168 (1)	105.0%
医学部	医学科		110	850	403	110	110	100.0%
	看護学科		60	241	184	60	60	100.0%
	計		170	1,091	587	170	170	100.0%
工学部	機械工学科		75	331	197	86	78 (2)	104.0%
	電気・電子工学科		64	381	233	71	68	106.3%
	情報・メディア工学科		65	192	114	70	68	104.6%
	建築建設工学科		65	233	160	74	71	109.2%
	材料開発工学科		75	295	246	84	78	104.0%
	生物応用化学科		65	194	132	73	67	103.1%
	物理工学科		51	433	221	69	51	100.0%
	知能システム工学科		65	197	125	72	68 (1)	104.6%
	計		525	2,256	1,428	599	549 (3)	104.6%
	合 計		855	4,014	2,488	948	887 (4)	103.7%

()内は留学生で内数

工学部にはマレーシア政府派遣留学生を含む

医学科一般入試受験者分は2段階選抜後の受験者数を加算

A O入試及び医学科推薦入試受験者分は最終選考の受験者数を加算

〔出身高校の地区別入学者数〕

平成26年度

地 区	北海道	東北	関東	北陸・甲信越		東海	近畿	中国	四国	九州	その他	合計
				福井県	福井県外							
教育地域科学部			2	143 (85.1%)	7	8	4	1			3	168
医学部	1	1	10	65 (38.2%)	19	20	52	2				170
工学部	4	2	4	165 (30.1%)	71	230	63	2	1	3	4	549
合 計	5	3	16	373 (42.1%)	97	258	119	5	1	3	7	887

【東北】:青森,岩手,宮城,秋田,山形,福島 【関東】:茨城,栃木,群馬,埼玉,千葉,東京,神奈川

【北陸・甲信越】:新潟,富山,石川,福井,山梨,長野 【東海】:岐阜,静岡,愛知,三重 【近畿】:滋賀,京都,大阪,兵庫,奈良,和歌山

【中国】:鳥取,島根,岡山,広島,山口 【四国】:徳島,香川,愛媛,高知 【九州】:福岡,佐賀,長崎,熊本,大分,宮崎,鹿児島,沖縄

【その他】:外国の学校修了,専修学校高等課程修了,高卒認定,高等専門学校卒業

〔3年次編入学〕

平成26年度

学部	学 科	編入学定員 (A)	志願者数	受験者数	合格者数	編入者数 (B)	入学定員 充足率 (B)/(A)
医学部	看護学科	10	10	9	0	0	0.0%
工学部	全学科	30	115	96	52	40(13)	133.3%
	合 計	40	125	105	52	40(13)	100.0%

()内は留学生で内数

工学部にはマレーシア・ツィニング・プログラム留学生を含む

〔2年次後期編入学〕平成25年10月入学

平成25年度

学部	学 科	編入学定員 (A)	志願者数	受験者数	合格者数	編入者数 (B)	入学定員 充足率 (B)/(A)
医学部	医学科	5	172	17	5	5	100.0%

()内は留学生で内数

受験者数は,最終選考の受験者数

〔大学院〕

平成26年度

研究科	課程	専攻・領域・コース	入学定員 (A)	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数 (B)	入学定員 充足率 (B)/(A)	
教育学 研究科	修士課程	学校教育専攻	12	9	8	8	7	58.3%	
		教科教育 専攻	国語教育領域	25	4	4	4	4(2)	88.0%
			社会科教育領域		5	5	3	3	
			数学教育領域		6	6	5	4	
			理科教育領域		4	4	4	3	
			芸術教育領域(音楽・美術)		4	4	4	4	
			保健体育教育領域		2	2	2	2	
			生活科学教育領域(技術・家政)		2	2	2	1	
			英語教育領域		3	3	2	1	
	小計	37	39	38	34	29(2)	78.4%		
	教職大学院 の課程	教職開発 専攻	教職専門性開発コース	15	8	8	8	8	53.3%
スクールリーダー養成コース			15	21	21	21	19	126.7%	
小計		30	29	29	29	27	90.0%		
計			67	68	67	63	56(2)	83.6%	
医学系 研究科	修士課程	看護学専攻	12	14	14	14	14	116.7%	
		小計	12	14	14	14	14	116.7%	
	博士課程	統合先進医学専攻	25	15	15	15	15(2)	60.0%	
		小計	25	15	15	15	15(2)	60.0%	
計			37	29	29	29	29(2)	78.4%	
工学 研究科	博士前期 課程	機械工学専攻	32	43	43	40	38(5)	118.8%	
		電気・電子工学専攻	30	48	48	45	42(2)	140.0%	
		情報・メディア工学専攻	31	45	45	43	41(2)	132.3%	
		建築建設工学専攻	28	38	38	37	31(1)	110.7%	
		材料開発工学専攻	24	28	28	27	26(1)	108.3%	
		生物応用化学専攻	21	27	27	24	22(1)	104.8%	
		物理工学専攻	18	19	19	19	18(3)	100.0%	
		知能システム工学専攻	27	35	35	31	24(2)	88.9%	
		繊維先端工学専攻	15	18	18	17	15	100.0%	
		原子力・エネルギー安全工学専攻	27	29	29	29	29(3)	107.4%	
	小計	253	330	330	312	286(20)	113.0%		
	博士後期 課程	総合創成工学専攻	22	26	25	25	25(4)	113.6%	
		小計	22	26	25	25	25(4)	113.6%	
		計	275	356	355	337	311(24)	113.1%	
合計		379	453	451	429	396(28)	104.5%		

() 内は留学生で内数

〔10月入学〕

平成25年度

研究科	課程	専攻	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
医学系 研究科	博士課程	統合先進医学専攻	11	11	11	11
		計	11	11	11	11
工学 研究科	博士前期課程 GEPIS (国際総合工学特別コース)	機械工学専攻	0	0	0	0
		電気・電子工学専攻	0	0	0	0
		情報・メディア工学専攻	0	0	0	0
		建築建設工学専攻	0	0	0	0
		材料開発工学専攻	1	1	1	1(1)
		生物応用化学専攻	0	0	0	0
		物理工学専攻	0	0	0	0
		知能システム工学専攻	0	0	0	0
		繊維先端工学専攻	0	0	0	0
		原子力・エネルギー安全工学専攻	0	0	0	0
	小計	1	1	1	1(1)	
	博士後期課程 GEP for R&D (国際技術研究者育成コース)	総合創成工学専攻	1	1	1	1(1)
		小計	1	1	1	1(1)
博士後期課程	総合創成工学専攻	1	1	1	1	
	小計	1	1	1	1	
小計			3	3	3	3(2)
合計			14	14	14	14(2)

() 内は留学生で内数

平成25年度卒業生・修了者の進路状況

[学 部]

平成26年 5月 1日現在

進路 課程・学科	卒業 者 a	進 学 者 b	就 職 者 c	臨 床 研 修 医 d	専 修 学 校 等 入 学 者 e	一 時 的 な 仕 事 に 就 いた 者 f	左 記 以 外 の 者 g+h	内 訳		死 亡 ・ 不 詳 の 者	職 して い る 者 i (再掲 左記 進 学 者 の うち 就 職 し て い る 者)	進 学 率 (b+e)/a	就 職 率 (c+f+i)/a	卒 業 者 に 対 す る 進 路 決 定 率 (b~f+g)/a
								其 他 帰 国 g	進 路 未 定 者 h					
警 域 科 学 部	学校教育課程	100	23	50		26	1		1			23.0%	76.0%	99.0%
	地域科学課程	58		55		2						1.7%	98.3%	100.0%
	小 計	158	23	105		28	1		1			15.2%	84.2%	99.4%
医 学 部	医 学 科	96			90		6		6					93.8%
	看 護 学 科	65	3	62								4.6%	95.4%	100.0%
	小 計	161	3	62	90		6		6			1.9%	38.5%	96.3%
工 学 部	機 械 工 学 科	73	42	31								57.5%	42.5%	100.0%
	電 気 ・ 電 子 工 学 科	81	45	35			1		1			55.6%	43.2%	98.8%
	情 報 ・ メ デ ィ ア 工 学 科	76	43	30			3		3			56.6%	39.5%	96.1%
	建 築 建 設 工 学 科	70	35	33			2		2			50.0%	47.1%	97.1%
	材 料 開 発 工 学 科	73	34	38		1						47.9%	52.1%	100.0%
	生 物 応 用 化 学 科	63	29	31		1		2		2		47.6%	49.2%	96.8%
	物 理 工 学 科	48	21	25				2		2		43.8%	52.1%	95.8%
	知 能 シ ス テ ム 工 学 科	71	33	35				3		3		46.5%	49.3%	95.8%
小 計	555	282	258		2		13		13			51.2%	46.5%	97.7%
合 計	874	308	425	90	3	28	20		20			35.6%	51.8%	97.7%

※1 その他・帰国：専業主婦、就職以外の活動等、就職、進学を希望せずそれ以外の進路を選んだ者、帰国し、本国での就職、進学を希望し活動している者が該当。

(ただし、帰国前に進路先が決定している者については、進学、就職等それぞれに分類している。)

※2 平成24年度学校基本調査の改訂により、学校教員の非常勤講師を一時的な仕事に就いた者に計上。そのため、就職率を「就職者十一時的な仕事に就いた者十(再掲)「進学者」のうち就職している者」の卒業者に対する割合に変更した。

(参考)

教 育 地 域 科 学 部	平成24年度	155	24	107		2	12	10		10		16.8%	76.8%	93.5%
	平成23年度	159	29	100		2	20	8		8		19.5%	75.5%	95.0%
	平成22年度	160	25	126		2		7	1	6		16.9%	78.8%	96.3%
	平成21年度	169	36	121		7	2	3	1	2		25.4%	71.6%	97.6%
平成20年度	175	27	147		1						16.0%	84.0%	100.0%	
医 学 部	平成24年度	159	1	58	94	2		4		4		1.9%	36.5%	97.5%
	平成23年度	162	4	58	92	1	1	6		6		3.1%	36.4%	96.3%
	平成22年度	167		65	98			4		4			38.9%	97.6%
	平成21年度	169	2	63	98			6		6		1.2%	37.3%	96.4%
	平成20年度	150	3	57	87			3		3		2.0%	38.0%	98.0%
工 学 部	平成24年度	556	253	286		3		14		14		46.0%	51.4%	97.5%
	平成23年度	555	262	283		2		8		8		47.6%	51.0%	98.6%
	平成22年度	555	301	228		7	2	17	2	15		55.5%	41.1%	96.9%
	平成21年度	540	284	230		6	1	19	9	10		53.7%	42.6%	98.0%
	平成20年度	508	237	256		3	1	11	4	7		47.2%	50.4%	98.4%

進路 課程・学科	建 設 業	製 造 業	電 気 ・ ガ ス ・ 水 道 業	情 報 通 信 業	運 輸 業 ・ 郵 便 業	卸 売 業 ・ 小 売 業	金 融 業 ・ 保 険 業	学 術 研 究 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	学 校 教 育	学 習 支 援 業	其 他 の 教 育 ・ 学 習 支 援 業	医 療 業 ・ 保 健 衛 生	福 祉 ・ 介 護 事 業	社 会 保 険 ・ 社 会 福 祉 サ ー ビ ス 業	複 合 サ ー ビ ス 業	サ ー ビ ス 業	国 家 公 務 員	地 方 公 務 員	そ の 他	合 計	
科 学 部	学校教育課程		1		2	1	1	1	1	37			1	2					3		50
科 学 部	地域科学課程		6		2		12	6	1						5	1	1	18	3		55
医 学 部	医 学 科																				
	看 護 学 科											62									62
工 学 部	機 械 工 学 科	3	20			2	1		2									2	1		31
	電 気 ・ 電 子 工 学 科	4	22	2			2		1								2		1	1	35
	情 報 ・ メ デ ィ ア 工 学 科	1	2		17	1	6									2			1		30
	建 築 建 設 工 学 科	21	3				2		1								1		5		33
	材 料 開 発 工 学 科	1	23		1		1	2	1	1							2		4	2	38
	生 物 応 用 化 学 科		16		2		3	3	1	1	1	3								1	31
	物 理 工 学 科		13		3		2			2							2		2	1	25
	知 能 シ ス テ ム 工 学 科		12		8		6	1	3							1			4		35

[大学院（修士課程，博士課程(前期)，専門職学位課程)]

平成26年5月1日現在

専攻	進路	修了者 a	進学者 b	就職者 c	臨床研修医 d	専修学校・外国の 学校等入学者 e	一時的な仕事 に就いた者 f	左記以外の者 g+h		死亡・不詳の者	職学者(再掲)左記進 職しているうち就 進者 i	進学率 (b+e)/a	就職率 (c+f+i)/a	修了者に対す る進路決定率 (b~f+g)/a
								内 その他帰国 g	訳 進路未定者 h					
教育学研究科	学校教育専攻	8		7			1						100.0%	100.0%
	教科教育専攻	33		27			5	1	1				97.0%	100.0%
	教職開発専攻	29		27			2						100.0%	100.0%
	小計	70		61			8	1	1				98.6%	100.0%
医学系研究科	看護学専攻	11		11									100.0%	100.0%
工学研究科	機械工学専攻	33	3	30								9.1%	90.9%	100.0%
	電気・電子工学専攻	27	1	26								3.7%	96.3%	100.0%
	情報・メディア工学専攻	31	1	30								3.2%	96.8%	100.0%
	建築建設工学専攻	9		9									100.0%	100.0%
	材料開発工学専攻	26		25				1	1				96.2%	96.2%
	生物応用化学専攻	25	2	21				2	1	1		8.0%	84.0%	96.0%
	物理工学専攻	20		18				2		2			90.0%	90.0%
	知能システム工学専攻	29	3	26								10.3%	89.7%	100.0%
	ファイバ・アメリティ工学専攻	19	1	17				1		1		5.3%	89.5%	94.7%
	原子力・エネルギー安全工学専攻	18	1	17								5.6%	94.4%	100.0%
小計	237	12	219				6	1	5		5.1%	92.4%	97.9%	
合計	318	12	291				8	7	2	5	3.8%	94.0%	98.4%	

※1 その他・帰国：専業主婦，就職以外の活動等，就職，進学を希望せずそれ以外の進路を選んだ者，帰国し，本国での就職，進学を希望し活動している者が該当。
 (ただし，帰国前に進路先が決定している者については，進学，就職等それぞれに分類している。)
 ※2 平成24年度学校基本調査の改訂により，学校教員の非常勤講師を一時的な仕事に就いた者に計上。そのため，就職率を「就職者十一時的な仕事に就いた者十(再掲)「進学者」のうち就職している者」の卒業者に対する割合に変更した。

(参考)

教育学研究科	平成24年度	57		53			4						100.0%	100.0%
	平成23年度	66		54		1	9	2		2		1.5%	95.5%	97.0%
	平成22年度	61	1	52				8	5	3		1.6%	85.2%	95.1%
	平成21年度	60	1	56				3	3			1.7%	93.3%	100.0%
	平成20年度	63		61		1		1	1			1.6%	96.8%	100.0%
医学系研究科	平成24年度	9		9									100.0%	100.0%
	平成23年度	8		8									100.0%	100.0%
	平成22年度	6		6									100.0%	100.0%
	平成21年度	7		7									100.0%	100.0%
	平成20年度	7		7									100.0%	100.0%
工学研究科	平成24年度	271	10	256				5		5		3.7%	94.5%	98.2%
	平成23年度	290	10	269		1	1	9		9		3.8%	93.1%	96.9%
	平成22年度	224	17	201				6	3	3		7.6%	89.7%	98.7%
	平成21年度	230	23	196		2		9	1	8		10.9%	85.2%	96.5%
	平成20年度	239	12	222				5	4	1		5.0%	92.9%	99.6%

専攻	産業別	建設業	製造業	電気ガス・水道業	情報通信業	運輸業・郵便業	卸売業・小売業	金融業・保険業	技術サービス業	学校教育	学習支援業	その他の教育・学習支援業	医療業・保健衛生	福祉・介護事業	社会保険・社会福祉	複合サービス事業	サービス業	国家公務員	地方公務員	その他	合計	
教育学研究科	学校教育専攻									5					1					1		7
	教科教育専攻		1		1		2			21	2											27
	教職開発専攻									26										1		27
医学系研究科	看護学専攻												11									11
工学研究科	機械工学専攻		23	1	1		1		2										1	1		30
	電気・電子工学専攻			20	2	3													1			26
	情報・メディア工学専攻	1	6		21		1										1					30
	建築建設工学専攻	4	2			1														2		9
	材料開発工学専攻		21				1		1	1									1			25
	生物応用化学専攻		17				1			1												21
	物理工学専攻		13		1		2		1											1		18
	知能システム工学専攻		15		5				4										1	1		26
	ファイバ・アメリティ工学専攻		15		1					1												17
原子力・エネルギー安全工学専攻	2	4	5	2	1	1		1											1		17	

〔大学院（博士課程（後期，一貫））〕

平成26年5月1日現在

専攻	進路	修了者 a	進学者 b	就職者 c	臨床研修医 d	専修学校・外国の 学校等入学者 e	一時的な仕事 に就いた者 f	左記以外の者 g+h	内 訳		死亡・不詳の者	職（再掲） 学者のうち就 職している者 i	進 学 率 (b+e)/a	就 職 率 (c+f+i)/a	修了者に対す る進路決定率 (b~f+g)/a
									その他帰国 g	進路未定者 h					
医学系研究科	生理系専攻	1		1										100.0%	100.0%
	医科学系専攻	1					1							100.0%	100.0%
	先端応用医学専攻	16		15			1							100.0%	100.0%
	小計	18		16			2							100.0%	100.0%
工学研究科	物質工学専攻	7		7										100.0%	100.0%
	システム設計工学専攻	6		6										100.0%	100.0%
	フアイバーアメリティ工学専攻	1		1										100.0%	100.0%
	小計	14		14										100.0%	100.0%
合計		32		30			2							100.0%	100.0%

（参考）

医学系研究科	平成24年度	14		12			2							100.0%	100.0%
	平成23年度	21		20			1							100.0%	95.2%
	平成22年度	12		11				1	1					91.7%	91.7%
	平成21年度	18		17				1	1					94.4%	100.0%
	平成20年度	15		15										100.0%	100.0%
工学研究科	平成24年度	15		14			1		1					93.3%	93.3%
	平成23年度	25		25										100.0%	100.0%
	平成22年度	29		25				4	4					86.2%	100.0%
	平成21年度	34		28				6	4	2				82.4%	94.1%
	平成20年度	34		33		1								97.1%	100.0%

専攻	産業別	建設業	製造業	電気・ガス・水道業	情報通信業	運輸業・郵便業	卸売業・小売業	金融業・保険業	技術サービス業	学術研究専門・ 技術サービス業	学校教育	学習支援業	その他の教育・ 医療業・保健衛生	福祉・介護事業	社会保険・社会 複合サービス事業	サービス業	国家公務員	地方公務員	その他	合計		
																					医学系研究科	生理系専攻
	医科学系専攻																					
	先端応用医学専攻										4		11									15
工学研究科	物質工学専攻									2	5											7
	システム設計工学専攻		2								4											6
	フアイバーアメリティ工学専攻										1											1

〔教員免許状取得状況〕

区分	幼			小			中			高			特支 (18年度までは養護学校)		
	計	専修	1種・2種	計	専修	1種・2種	計	専修	1種・2種	計	専修*1	1種*2	計	専修*3	1種・2種*4
平成25年度	16	3	13	135	37	98	142	55	87	190	65(6)	125(36)	25	5	20
平成24年度	13	2	11	120	28	92	123	37	86	143	53(10)	90(14)	29	7	22
平成23年度	16	5	11	128	35	93	142	45	97	153	45	108(17)	19	5	14
平成22年度	22	4	18	133	31	102	133	39	94	158	50	108(16)	30	4	26
平成21年度	20	1	19	133	28	105	142	35	107	146	37	109(5)	37	7	30(1)
平成20年度	28	1	27	120	12	108	123	15	108	140	16	124(18)	26	5(1)	21
平成19年度	23	2	21	111	14	97	115	18	97	122	19	103(14)	23	5	18(2)
平成18年度	21	2	19	127	24	103	134	28	106	154	38	116(22)	28	2(2)	26(1)

- * 1 : ()内は内数で、工学研究科の学生が取得した数を示す。
- * 2 : ()内は内数で、工学部、工学研究科の学生が取得した数を示す。
- * 3 : ()内は内数で、特殊教育特別専攻科の学生が取得した数を示す。
- * 4 : ()内は内数で、特殊教育特別専攻科の学生が取得した数を示す。

〔医師国家試験合格状況〕

区分	医学科 卒業生数	新 卒 者			既 卒 者			合 計			順 位	
		受験者数	合格者数	合格率%	受験者数	合格者数	合格率%	受験者数	合格者数	合格率(全国平均)%	全大学(80)	国立大学(43)
平成26年	96	96	90	93.8	8	5	62.5	104	95	91.4(90.6)	39位	19位
平成25年	97	97	94	96.9	9	5	55.6	106	99	93.4(89.8)	20位	6位
平成24年	98	98	93	94.9	7	1	14.3	105	94	89.5(90.2)	54位	28位
平成23年	101	101	98	97.0	9	5	55.6	110	103	93.6(89.3)	18位	11位
平成22年	103	103	98	95.1	8	2	25.0	111	100	90.1(89.2)	45位	25位
平成21年	88	88	87	98.9	15	8	53.3	103	95	92.2(91.0)	38位	21位
平成20年	107	107	97	90.7	12	5	41.7	119	102	85.7(90.6)	70位	40位
平成19年	114	114	107	93.9	12	6	50.0	126	113	89.7(87.9)	40位	27位

〔保健師、助産師及び看護師の国家試験合格状況〕

区分	受 験 者 数						合 格 者 数						合格率 %	全国 合格率 %	
	新 卒 者			既 卒 者			新 卒 者			既 卒 者					
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
保健師	平成26年	3	62	65				3	62	65				100.0	86.5
	平成25年	6	56	62				6	56	62				100.0	96.0
	平成24年	10	54	64		1	1	8	52	60		1	1	93.8	86.0
	平成23年	5	61	66		2	2	5	60	65		1	1	97.1	86.3
	平成22年	6	59	65		1	1	6	56	62				93.9	86.6
	平成21年	7	55	62		1	1	7	55	62		1	1	100.0	97.7
	平成20年	5	60	65		1	1	5	59	64		1	1	98.5	91.1
平成19年	1	63	64	1	7	8	1	63	64	1	6	7	98.6	99.0	
助産師	平成26年		6	6					6	6				100.0	96.9
	平成25年		5	5					5	5				100.0	98.1
	平成24年		4	4					4	4				100.0	95.0
	平成23年		4	4		1	1		4	4		1	1	100.0	97.2
	平成22年		5	5					4	4				80.0	83.1
	平成21年		2	2		1	1		2	2		1	1	100.0	99.9
	平成20年		4	4					3	3				75.0	98.1
平成19年		3	3					3	3				100.0	94.3	
看護師	平成26年	3	56	59				3	56	59				100.0	89.8
	平成25年	6	46	52				6	46	52				100.0	88.8
	平成24年	9	50	59		1	1	9	50	59		1	1	100.0	90.1
	平成23年	4	52	56		1	1	4	52	56		1	1	100.0	91.8
	平成22年	5	51	56		2	2	5	51	56		2	2	100.0	89.5
	平成21年	6	46	52				6	44	50				96.2	89.9
	平成20年	5	53	58		2	2	5	53	58		2	2	100.0	90.3
平成19年	1	55	56				1	55	56				100.0	90.6	

教育・研究

〔21世紀COEプログラム〕

年度	プログラム名称	中核となる専攻等名	学問分野
15～19	生体画像医学の統合研究プログラム	高エネルギー医学研究センター 大学院医学系研究科	医学系

〔教育改革に係る競争的資金採択状況〕

事業名	年度	プログラム名称	部局名
特色ある大学教育支援プログラム（特色GP）	15～18	地域と協働する実践的教員養成プロジェクト	教育地域科学部
	17～20	より高い現代的な教養教育をめざして	共通教育センター
現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）	16～19	医学英語と医学・看護学の統合的一貫教育	医学部
	17～19	地域教育活動の場の持続的形成プログラム	工学部
大学・大学院における教員養成推進プログラム（教員養成GP）	17～18	学校を拠点に教員の協働実践力を培う大学院	教育地域科学部
地域医療等社会的ニーズに対応した医療人教育支援プログラム	17～19	「救急に強い僻地診療専門医及び専門看護師」養成コース	医学部附属病院
派遣型高度人材育成協同プラン	18～22	地域産業との連携による派遣型高度人材育成	大学院工学研究科 (博士前期課程, 博士後期課程)
大学院教育改革支援プログラム	19～21	学生の個性に応じた総合力を育む大学院教育	大学院工学研究科 (博士前期課程)
社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム	19～21	潜在看護師と就業看護師の相互学習を基盤とした臨床看護実践能力獲得プログラム	医学部(看護学科), 医学系研究科(修士課程), 医学部附属病院
がんプロフェッショナル養成プラン	19～23	北陸がんプロフェッショナル養成プログラム—ICTによる融合型教育システム及び「がんプロネット」の構築—	金沢大学, 富山大学, 福井大学(医学系研究科), 金沢医科大学, 石川県立看護大学の共同事業
質の高い大学教育推進プログラム（教育GP）	20～22	夢を形にする技術者育成プログラム	工学部
専門職大学院等における高度専門職業人養成教育推進プログラム	20～21	実践力・改革力を培う長期協働実習の組織化	福井大学(大学院教育学研究科教職開発専攻), 群馬大学, 富山大学, 金沢大学の共同事業
大学病院連携型高度医療人養成推進事業	20～24	地域発信・統合型専門医養成プログラム	富山大学, 東京大学, 京都大学, 福井大学(医学部附属病院)他19大学の共同事業
	20～24	マグネット病院連携を基盤とした専門医養成(大学病院とマグネット病院との機能的連携を基盤とした高度医療人養成プラン)	京都大学, 滋賀医科大学, 神戸大学, 福井大学(医学部附属病院)関西医科大学, 香川大学との共同事業
大学教育・学生支援推進事業(テーマA)大学教育推進プログラム	21～23	学士力涵養の礎となる初年次教育の充実	大学院工学研究科
教育研究高度化のための支援体制整備事業	21	世界的研究拠点形成支援プロジェクト	重点研究高度化推進本部
大学生の就業力育成支援事業	22～23	世代間交流と地域参画活動が生み出す就業力	教育地域科学部
産業界のニーズに対応した教育改善・充实体制整備事業	24～26	中部圏の地域・産業界との連携を通じた教育改革力の強化	三重大学, 金沢大学, 静岡大学, 岐阜大学, 福井大学他19大学の共同事業
医学部・大学病院の教育・研究活性化及び地域・へき地医療支援人材の確保事業	24	医学部・大学病院の教育・研究活性化及び地域・へき地医療支援人材の確保	医学部
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン	24～28	北陸高度がんプロチーム養成基盤形成プラン	富山大学, 金沢大学, 金沢医科大学, 石川県立看護大学, 福井大学(医学部・医学系研究科)の共同事業

事業名	年度	プログラム名称	部局名
リサーチ・アドミニストレーター(URA)を育成・確保するシステムの整備事業	24～26	リサーチ・アドミニストレーションシステムの整備	URAオフィス
グローバル人材育成推進事業	24～28	グローバル人材育成推進事業 タイプB：特色型	工学部
大学等シーズ・ニーズ創出強化支援事業	25	大学等シーズ・ニーズ創出強化支援事業(イノベーション対話促進プログラム)	産学官連携本部
地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)	25～29	地域を志向して人を育み、地域を活かす福井の知の拠点づくり	COC推進室
大学を活用した文化芸術推進事業	25	イノベティブ・アートマネジメント・プログラム(IAM)～地域コミュニティ密着型人材育成プログラムの開発～	教育地域科学部

〔採択状況〕

(件)

項 目	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
1 大学教育等の充実と教育の質保証											
特色ある大学教育支援プログラム(特色GP)	1		1								
現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)		1	1								
質の高い大学教育推進プログラム(教育GP)						1					
大学教育・学生支援推進事業【テーマA】大学教育推進プログラム							1				
21世紀COEプログラム	1										
大学院教育改革支援プログラム					1						
教育研究高度化のための支援体制整備事業							1				
大学生の就業力育成支援事業								1			
産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業										1	
リサーチ・アドミニストレーター(URA)を育成・確保するシステムの整備事業										1	
大学等シーズ・ニーズ創出強化支援事業											1
大学を活用した文化芸術推進事業											1
2 大学教育の国際化											
大学教育の国際化推進プログラム(海外先進教育実践支援)		2		3	4						
大学教育の国際化加速プログラム(海外先進教育研究実践支援)						3					
グローバル人材育成推進事業										1	
3 高度医療人材の養成											
地域医療等社会的ニーズに対応した質の高い医療人養成推進プログラム			1								
がんプロフェッショナル養成プラン					1						
大学病院連携型高度医療人養成推進事業						2					
医学部・大学病院の教育・研究活性化及び地域・へき地医療支援人材の確保											1
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン											1
4 専門的人材育成等の推進											
派遣型高度人材育成協同プラン				1							
大学・大学院における教員養成推進プログラム(教員養成GP)			1								
専門職大学院等における高度専門職業人養成教育推進プログラム						1					
社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム					1						
5 社会との連携の推進											
地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)											1

〔科学研究費助成事業 申請・採択状況(新規分)〕

研究種目	区分	平成20年度			平成21年度			平成22年度		
		件数	直接経費(千円)	間接経費(千円)	件数	直接経費(千円)	間接経費(千円)	件数	直接経費(千円)	間接経費(千円)
特別推進研究	申請	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	採択	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定領域研究	申請	24	95,321	—	11	55,464	—	5	15,900	—
	採択	6	13,600	0	1	5,700	0	2	5,200	0
新学術領域研究	申請	3	83,088	—	14	90,479	—	6	90,341	—
	採択	0	0	0	1	2,800	840	1	4,300	1,290
基盤研究(S)	申請	1	61,500	—	1	61,500	—	1	61,500	—
	採択	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基盤研究(A)	申請	4	86,160	—	4	90,330	—	4	104,599	—
	採択	1	19,600	5,880	0	0	0	1	10,800	3,240
基盤研究(B)	申請	33	268,097	—	33	269,870	—	25	171,297	—
	採択	8	56,300	16,890	9	59,800	17,940	5	35,000	10,500
基盤研究(C)	申請	179	365,941	—	167	331,679	—	159	306,301	—
	採択	41	73,600	22,080	45	72,000	21,600	35	50,100	15,030
挑戦的萌芽研究	申請	101	236,677	—	71	168,804	—	68	156,295	—
	採択	3	4,600	0	9	12,900	0	7	9,100	0
若手研究(S)	申請	3	92,758	—	1	18,000	—	—	—	—
	採択	1	35,800	10,740	0	0	0	—	—	—
若手研究(A)	申請	6	86,560	—	4	67,170	—	4	55,585	—
	採択	2	28,800	8,640	0	0	0	0	0	0
若手研究(B)	申請	82	188,295	—	101	231,766	—	122	278,597	—
	採択	16	30,100	9,030	32	56,600	16,980	24	39,600	11,880
研究活動スタート支援 (旧若手スタートアップ)	申請	13	18,071	—	9	11,871	—	19	26,224	—
	採択	4	4,440	1,332	0	0	0	5	5,140	1,542
特別研究 促進費	申請	2	5,290	—	0	0	—	0	0	—
	採択	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研究成果 公開促進費	申請	3	10,083	—	2	5,045	—	2	5,471	—
	採択	0	0	0	1	1,200	0	0	0	0
特別研究員 奨励費	申請	0	0	—	4	2,901	—	3	3,900	—
	採択	0	0	0	4	2,600	0	3	2,700	0
計	申請	454	1,597,841	—	422	1,404,879	—	418	1,276,010	—
	採択	82	266,840	74,592	102	213,600	57,360	83	161,940	43,482

〔科学研究費助成事業 採択状況(新規分+継続分)〕

研究種目	平成20年度			平成21年度			平成22年度		
	件数	直接経費(千円)	間接経費(千円)	件数	直接経費(千円)	間接経費(千円)	件数	直接経費(千円)	間接経費(千円)
特別推進研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定領域研究	8	25,800	0	8	25,700	0	4	17,500	0
新学術領域研究	0	0	0	1	2,800	840	2	7,000	2,100
基盤研究(S)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基盤研究(A)	2	25,500	7,650	1	10,400	3,120	2	14,800	4,440
基盤研究(B)	23	100,000	30,000	22	100,500	30,150	22	87,300	26,190
基盤研究(C)	105	133,600	40,080	111	123,700	37,110	124	123,900	37,170
挑戦的萌芽研究	13	16,500	0	16	18,000	0	15	15,400	0
若手研究(S)	1	35,800	10,740	1	8,500	2,550	1	8,600	2,580
若手研究(A)	3	32,800	9,840	2	9,300	2,790	1	4,000	1,200
若手研究(B)	42	53,300	15,990	55	75,700	22,710	57	71,100	21,330
研究活動スタート支援 (旧若手スタートアップ)	5	5,790	1,737	4	3,690	1,107	5	5,140	1,542
特別研究促進費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研究成果公開促進費	0	0	0	1	1,200	0	0	0	0
特別研究員奨励費	4	4,200	0	4	2,600	0	7	5,900	0
計	206	433,290	116,037	226	382,090	100,377	240	360,640	96,552

※申請数に対する採択数をみるため、申請後の異動分については、転入は含めず転出は含めている(文科省および学振からの内定通知のとおり計上)。

※特別研究員奨励費については、複数年度研究期間があるものは、2年目、3年目は継続とする。

※若手研究(S)については、H22年度より公募が取り止めとなった。

※平成23年度以降の基金化種目については、申請・採択金額は、1年度分の申請額・交付内定額とする。

研究種目	区分	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		件数	直接経費(千円)	間接経費(千円)	件数	直接経費(千円)	間接経費(千円)	件数	直接経費(千円)	間接経費(千円)
特別推進研究	申請	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	採択	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定領域研究	申請	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	採択	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新学術領域研究	申請	19	184,516	—	16	337,826	—	25	295,126	—
	採択	1	1,100	330	2	7,300	2,190	2	8,300	2,490
基盤研究(S)	申請	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	採択	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基盤研究(A)	申請	3	87,330	—	8	165,435	—	2	43,185	—
	採択	0	0	0	3	54,600	16,380	1	7,900	2,370
基盤研究(B)	申請	34	265,182	—	31	247,540	—	29	246,687	—
	採択	6	44,300	13,290	8	50,100	15,030	10	67,300	20,190
基盤研究(C)	申請	171	336,794	—	194	360,074	—	193	367,357	—
	採択	40	75,900	22,770	56	86,900	26,070	55	87,100	26,130
挑戦的萌芽研究	申請	68	171,124	—	73	179,240	—	84	194,521	—
	採択	12	19,400	5,820	16	24,500	7,350	18	25,300	7,590
若手研究(S)	申請	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	採択	—	—	—	—	—	—	—	—	—
若手研究(A)	申請	8	93,731	—	9	115,028	—	7	79,569	—
	採択	0	0	0	0	0	0	1	8,100	2,430
若手研究(B)	申請	126	300,864	—	104	240,220	—	122	297,875	—
	採択	33	51,100	15,330	28	43,500	13,050	36	61,900	18,570
研究活動スタート支援 (旧若手スタートアップ)	申請	10	13,300	—	13	16,199	—	10	13,380	—
	採択	4	5,000	1,500	4	3,600	1,080	4	4,100	1,230
特別研究 促進費	申請	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	採択	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研究成果 公開促進費	申請	3	5,833	—	4	8,463	—	4	6,667	—
	採択	0	0	0	1	2,200	0	0	0	0
特別研究員 奨励費	申請	1	1,200	—	0	0	—	3	3,600	—
	採択	1	800	0	0	0	0	3	3,600	0
計	申請	443	1,459,874	—	452	1,670,025	—	479	1,547,967	—
	採択	97	197,600	59,040	118	272,700	81,150	130	273,600	81,000

研究種目	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
	件数	直接経費(千円)	間接経費(千円)	件数	直接経費(千円)	間接経費(千円)	件数	直接経費(千円)	間接経費(千円)
特別推進研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定領域研究	2	5,200	0	0	0	0	0	0	0
新学術領域研究	2	5,400	1,620	3	8,200	2,460	4	14,800	4,440
基盤研究(S)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基盤研究(A)	1	10,000	3,000	4	58,900	17,670	5	37,400	11,220
基盤研究(B)	24	97,200	29,160	23	95,200	28,560	25	115,200	34,560
基盤研究(C)	122	140,500	42,150	134	154,080	46,224	153	182,520	54,756
挑戦的萌芽研究	22	27,300	8,190	32	40,400	12,120	36	43,400	13,020
若手研究(S)	1	8,600	2,580	0	0	0	0	0	0
若手研究(A)	0	0	0	0	0	0	3	15,800	4,740
若手研究(B)	75	86,400	25,920	73	82,500	24,750	74	97,200	29,160
研究活動スタート支援 (旧若手スタートアップ)	8	8,840	2,652	8	7,600	2,280	8	7,100	2,130
特別研究促進費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研究成果公開促進費	0	0	0	1	2,200	0	0	0	0
特別研究員奨励費	6	4,600	0	2	1,500	0	4	4,400	0
計	263	394,040	115,272	280	450,580	134,064	312	517,820	154,026

社会連携

〔生涯学習〕

公開講座実施状況

区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
講 座 数	32	35	34	38	42	42
受講者延べ数	1,900	3,083	4,387	3,132	3,213	3,408

福井大学では、21世紀にふさわしい「開かれた大学」をめざしています。

平成26年度も、特色ある大学づくりのために重点的に取り組む教育研究プロジェクトの成果を発表する「福井大学発 最先端研究～明日への挑戦～」，高度な教育・最先端の研究活動の一端を広く地域社会に紹介・還元することを目的とする「福井大学きてみてフェア」など38件の公開講座を開催します。

市民開放プログラム実施状況

区 分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
開 講 数	118	130	118	131	113	124	117	126	114	120	113	115
受 講 者 数	48	53	56	49	53	51	55	43	51	44	56	43

生涯学習市民開放プログラムは、福井大学共通教育センターが行う大学開放活動の一環で、正規の授業を開放して一般市民の方々に生涯学習の機会を提供するとともに、地域社会と大学の連携をますます深めようとするものです。

受講にあたっては、受講生として登録する必要があります。単位認定は行いませんが、希望により受講完了時に「修了証書」を発行します。

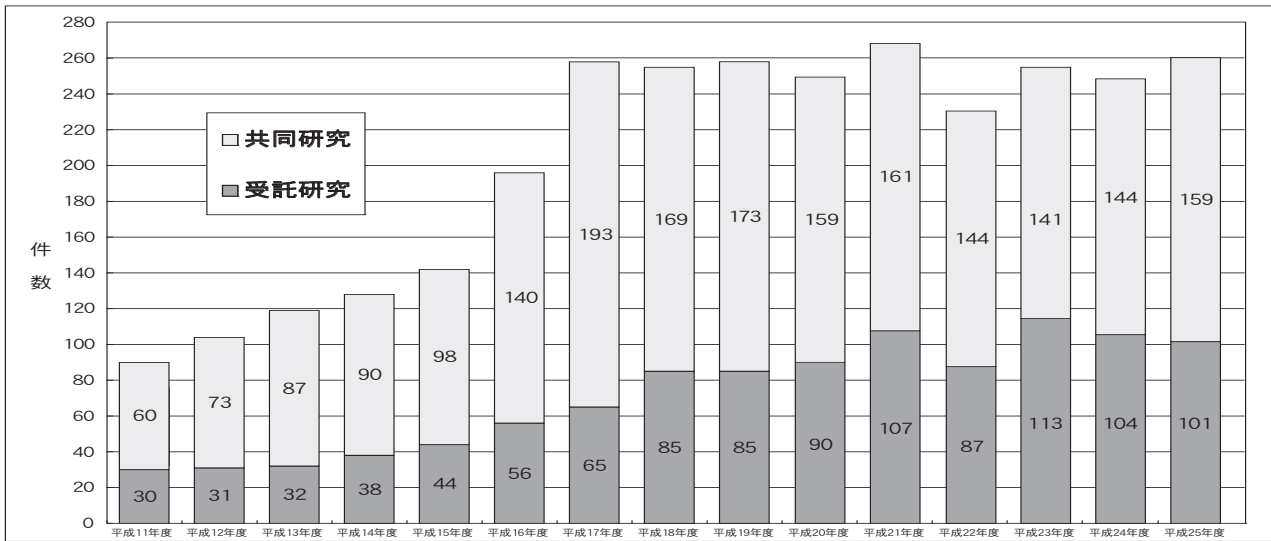
平成26年度前期に開放する授業科目は、共通教養・副専攻科目（A群）57科目と専門教育・副専攻科目（B群）55科目です。

〔その他の主な社会連携事業〕

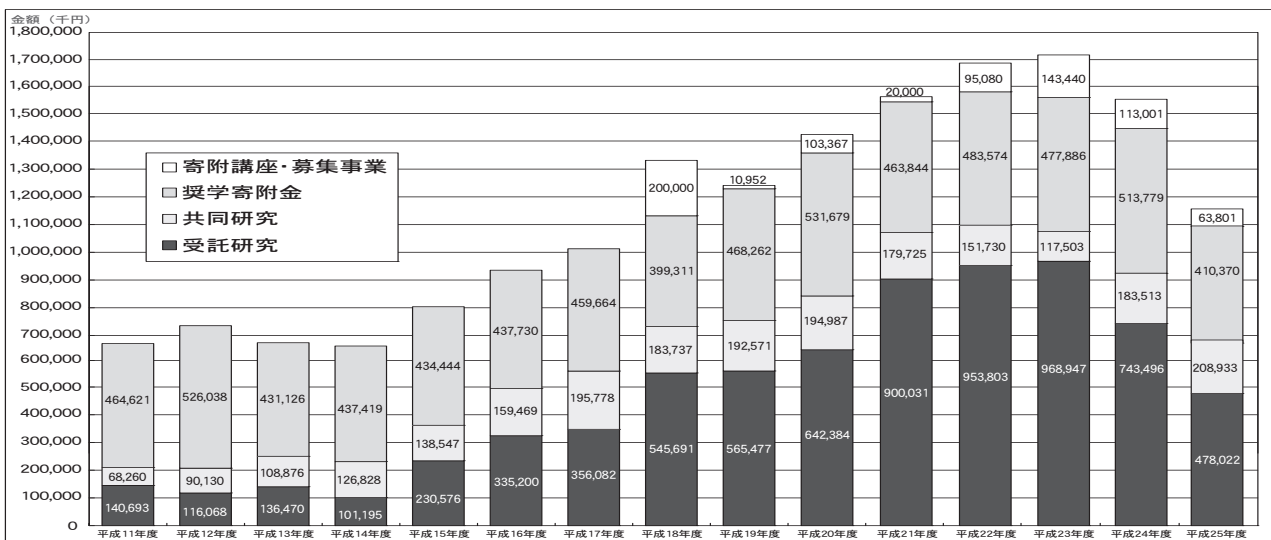
- ・探求ネットワーク事業
- ・ライフパートナー事業
- ・医学部寄附講座「地域プライマリケア講座」の設置（高浜町）
- ・医学部寄附講座「地域医療推進講座」の設置（福井県）
- ・医学部寄附講座「地域高度医療推進講座」の設置（公立小浜病院組合）
- ・医学部附属病院と福井勝山総合病院（旧：福井社会保険病院）との産婦人科診療連携
- ・災害ボランティア活動支援センターにおける講演会、研修会の開催
- ・学生・教職員の災害ボランティア活動への参加
- ・子どもの悩み110番による支援
- ・離職看護師への再教育における再就職支援、認定看護師の養成
- ・北陸高度がんプロチーム養成基盤形成プラン
- ・福井県、福井市、勝山市、永平寺町、福井商工会議所との包括的連携協定締結
- ・福井大学・鯖江市・鯖江商工会議所の三者による包括的連携協定締結
- ・大野市、美浜町との相互友好協力協定締結
- ・附属国際原子力工学研究所と敦賀市との原子力防災に関する相互連携協定締結
- ・旧美山町（H18.2福井市に合併）との花粉症治療にかかる連携協定締結
- ・永平寺町、嶺北消防組合との災害時医師派遣に関する協定締結
- ・永平寺町消防本部の機能別消防団員制度「大規模災害団員」に看護学科学学生を任命（名称：大学生防災サポーター）
- ・医学部附属病院と（財）福和会との災害時における救援物資提供に関する協定締結
- ・附属図書館と県立図書館及び県内市町立図書館との相互貸借
- ・田原町商店街との連携によるたわら屋を中心とした地域教育活動、地域活性化
- ・学生の「福大EMP実行委員会」による福井駅周辺の活性化を目指した活動
- ・福井大学きてみてフェア
- ・コミュニティ学習支援者の力量形成に関する履修証明プログラム
- ・理数系教員（CST：コア・サイエンス・ティーチャー）養成

産学官連携

〔共同研究・受託研究件数〕



〔外部資金受入状況〕



〔寄附講座・寄附研究部門・共同研究部門設置状況〕

寄附講座

平成26年5月1日現在

部局名	寄附講座名	設置期間		寄附総額 (千円)	寄附者
		始期	終期		
医学部	地域プライマリケア講座	21.3.25	27.3.31	125,000	高浜町
医学部	地域医療推進講座	22.4.1	28.3.31	316,400	福井県
医学部	地域高度医療推進講座	25.4.1	28.3.31	44,000	公立小浜病院組合

寄附研究部門

平成26年5月1日現在

部局名	寄附研究部門名	設置期間		寄附総額 (千円)	寄附者
		始期	終期		
高エネルギー医学研究センター	分子プローブ開発応用領域PET工学部門	17.4.1	31.3.31	69,000	(株)CMI
高エネルギー医学研究センター	国際画像医学研修部門	6.4.1	27.3.31	420,000	日本メジフィジックス(株)
附属国際原子力工学研究所	原子カシミアアクセシント評価部門	24.4.1	27.3.31	45,000	関西電力(株) 日本原子力発電(株)

共同研究部門

平成26年5月1日現在

部局名	共同研究部門名	設置期間		寄附総額 (千円)	寄附者
		始期	終期		
高エネルギー医学研究センター	パナソニック医工学共同研究部門	23.4.1	29.3.31	240,000	パナソニック(株)

知的財産

〔産業財産権の出願・登録状況〕

(件)

区 分	18年度以前	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合 計
特許(日本)	155(100)	46(20)	41(26)	38(24)	42(3)	40(1)	32(1)	30	424(175)
特許(海外)	15(3)	14	11(2)	7(1)	7	4(1)	8(2)	8(4)	74(13)
実用新案									
意 匠	2(1)	1(1)							3(2)
商 標	3(3)							2	5(3)
合 計	175(107)	61(21)	52(28)	45(25)	49(3)	44(2)	40(3)	40(4)	506(193)

注1：特許(海外)は、各年度における国際特許(PCT)、欧州特許(EP)への出願届出を含む

注2：()は、各年度に出願した件数のうち、H26.5.1までに登録された件数

〔特許(日本)の単独・共同出願状況〕

(件)

区 分	18年度以前	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合 計
単 独 出 願	43	18	21	20	10	13	14	15	154
共 同 出 願	112	28	20	18	32	27	18	15	270
合 計	155	46	41	38	42	40	32	30	424

〔特許(海外)の出願種別〕

(件)

区 分	18年度以前	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合 計
国際(PCT)	7	3	3	3	2	1	4	2	25
欧州(EP)	2	2	3	1	1	1	1	1	12
国・地域	6	9	5	3	4	2	3	5	37
合 計	15	14	11	7	7	4	8	8	74

〔知的財産権による収入〕

(円)

区 分	18年度以前	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合 計
権 利 譲 渡	900,000				882,309	1,837,500	933,150	2,993,550	7,546,509
実 施 許 諾	250,000	1,646,430	188,407	811,501	260,541	566,033	447,936	1,503,012	5,673,860
不 実 施 補 償	793,745	4,722,637	4,025,690	3,297,563	3,891,294	3,716,596	2,807,004	2,351,284	25,605,813
成 果 有 体 物	100,000	882,000	100,000	6,513,420	215,000	500,000	390,000	4,194,968	12,895,388
合 計	2,043,745	7,251,067	4,314,097	10,622,484	5,249,144	6,620,129	4,578,090	11,042,814	51,721,570

国際交流

〔学術交流協定締結状況〕

平成26年5月1日現在

<国別締結状況>

インド1, バングラデシュ2, タイ4, インドネシア3, フィリピン1, 韓国7, モンゴル1, 中国23, 台湾3, アラブ首長国連邦1, ウガンダ共和国1, オーストラリア1, カナダ1, アメリカ合衆国5, ドイツ3, フランス2, ポーランド1, ブルガリア1, ロシア4, ラトビア1, ベトナム1, ヘルー1

締結68件, 協定68機関

<大学間交流協定> 27件

機 関 名	国 名	締結年月日
ラトガーズ大学	アメリカ合衆国	1981年10月7日
西安外国語大学	中国	1985年9月9日 ※
西安理工大学	中国	1985年9月21日 ※
浙江大學	中国	1991年9月25日 ※
ロシア科学アカデミー応用物理学研究所	ロシア	1999年8月1日
北京信息科技大学	中国	2000年8月25日 ※
浙江理工大学	中国	2000年12月11日 ※
南昌航空大学	中国	2001年5月15日 ※
國立雲林科技大學	台湾	2002年4月25日 ※
武漢科技大学	中国	2002年6月17日 ※
江南大学	中国	2002年8月26日 ※
インドネシア大学	インドネシア	2002年9月30日 ※
リヨン繊維・化学技術院	フランス	2002年10月23日 ※
北京化工大学	中国	2002年11月1日 ※
イティハッド大学	アラブ首長国連邦	2002年11月10日 ※
蘇州大学	中国	2002年11月27日 ※
クレムソン大学	アメリカ合衆国	2003年2月11日 ※
メーン大学	フランス	2003年5月28日 ※
東華大学	中国	2004年5月25日 ※
テキサス大学 M. D. Anderson がんセンター	アメリカ合衆国	2004年8月12日
瀋陽師範大学	中国	2005年7月19日 ※
シャクアラ大学	インドネシア	2005年8月8日 ※
天津科技大学	中国	2005年12月20日 ※
イーストウエスト大学	バングラデシュ	2006年1月26日 ※
フィンドレー大学	アメリカ合衆国	2006年5月31日 ※
上海理工大学	中国	2013年9月1日 ※
ベトナム教育訓練省国際教育開発局	ベトナム	2014年2月20日

※は学生の交流の覚書有

<部局間交流協定>41件

部 局 名	機 関 名	国 名	締結年月日	
教育地域科学部	ハンブルク大学人文科学部アジア・アフリカ研究所	ドイツ	1995年4月1日 ※	
	釜山大学校師範大学	韓国	2002年11月11日 ※	
	上海師範大学	中国	2005年7月12日 ※	
医学部	オタワ大学医学部	カナダ	2000年3月18日 ※	
	マケレレ大学医学部	ウガンダ共和国	2006年4月4日 ※	
	インド国立鉱業医学研究所	インド	2011年9月6日	
	タイ王国中央胸部疾患研究所	タイ		
	ロシア医学アカデミーシベリア支部イルケーツク州立再建・移植外科研究センター	ロシア	2013年8月29日 ※	
医学部・附属病院	招興市人民病院	中国	2012年11月18日	
	延世大学工科大学	韓国	2000年3月1日 ※	
工学部	東亜大学校工科大学	韓国	2000年5月2日 ※	
	クルナ科学技術大学	バングラデシュ	2000年7月1日 ※	
	キングモンクト工科大学	タイ	2000年8月1日 ※	
	天津工業大学	中国	2000年12月13日 ※	
	ワルシャワ工科大学化学プロセス工学部	ポーランド	2001年3月1日 ※	
	国立釜慶大学校工科大学	韓国	2001年3月24日 ※	
	内蒙古工業大学	中国	2001年3月26日 ※	
	嶺南大学校工科大学	韓国	2001年6月25日 ※	
	モンゴル科学技術大学	モンゴル	2001年8月3日 ※	
	東南大学動力工程系	中国	2002年12月27日 ※	
	中国科学院南京土壤研究所	中国	2004年7月19日 ※	
	ロシア科学アカデミーシベリア地区物理学研究所	ロシア	2005年1月17日 ※	
	工学研究科	蘭州交通大学機電工程学院	中国	2007年12月13日 ※
		國立臺灣科技大学工程学院	台湾	2008年2月1日 ※
		成均館大学校工科大学	韓国	2008年8月19日 ※
國立清華大學工學院		台湾	2010年1月7日 ※	
ラジャマンガラ工科大学イサン校工学・建築学部		タイ	2012年8月17日 ※	
高エネルギー医学研究センター 遠赤外線領域開発研究センター	蘭州交通大学電子与信息工程学院・自動化与電気工程学院	中国	2013年3月31日 ※	
	ワシントン大学医学部マリノックロット放射線医学研究所	アメリカ合衆国	1999年6月29日	
	シドニー大学School of Physics	オーストラリア	1999年6月1日	
	D.Y.Efremov 電気物理研究所精密理工学センター	ロシア	2000年12月1日	
	カールスルーエ研究センターパルス出力・マイクロ波研究所	ドイツ	2001年3月5日	
	中国電子科技大学プラズマ研究所	中国	2001年12月1日	
	ブルガリア科学アカデミー電子工学研究所	ブルガリア	2002年3月1日	
	シュトゥットガルト大学プラズマ研究所	ドイツ	2002年3月1日	
	ハルオレオ大学数理・自然科学部	インドネシア	2009年10月1日	
	ソウル国立大学テラヘルツバイオ応用システムセンター	韓国	2011年3月18日	
	フィリピン大学物理学研究所	フィリピン	2011年4月11日	
	ラトビア大学固体物理研究所	ラトビア	2012年11月26日	
	産学官連携本部	タマサート大学東アジア研究所	タイ	2012年10月26日
		サンマルコス大学地質・鉱業・冶金・地理工学部	ヘルー	2014年2月28日
	附属国際原子力工学研究所	西安交通大学核科学与技術学院	中国	2012年7月25日

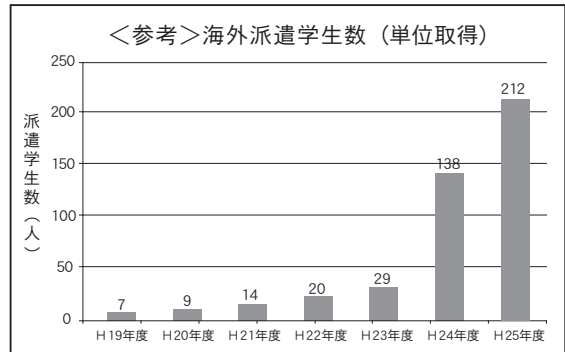
※は学生の交流の覚書有

〔海外派遣学生(単位取得)〕

平成25年度

派遣国名	大学名	派遣学生数
タイ	スィーパトゥム大学	30
	タマサート大学	11
	カセサート大学	13
	ラヨン産業保健・環境保健センター	3
	キングモンクト工科大学トンプリ校	2
	チェンマイ大学	2
マレーシア	マレーシアアプトラ大学	2
	マラヤ大学	2
インドネシア	アイルランガ大学	1
ベトナム	ハノイ工科大学	1
中国	上海理工大学	24
	天津工業大学	3
	浙江大 学	1
	西安理工大学	11
台湾	国立成功大学	1
	中国医薬大 学	2
韓国	釜慶大 学 校	1
	東亜大 学 校	4
バングラデシュ	クルナ科技大 学	3
	ハンブルク大 学	3
ドイツ	アーヘン工科大 学	4
	Ecole Nationale Supérieure de Chimie de Paris	1
フランス	レスター大学, グレンフィールド病院他	6
イギリス	チャルマース工科大学	1
スウェーデン	オカナガン大 学	14
	トロント大 学	12
アメリカ合衆国	クレムソン大 学	2
	フィンドレー大 学	3
	ポートランド州立大 学	18
	クリーブランド・クリニック	1
	バスコム・バルマー眼研究所	1
	オレゴン健康科学大 学	1
	ジョンズ・ホプキンス大 学	2
	サンフォード・パーナム医学研究所	1
	マサチューセッツ大学ローウェル校	3
オーストラリア	ジェームズクック大 学	3
ニュージーランド	オークランド大 学	14
ウガンダ	マケレレ大 学	3
合 計		212

※本学が留学を許可した者、あるいは本学の教育制度として実施し、参加が単位の取得に結びつくものに参加した学生数

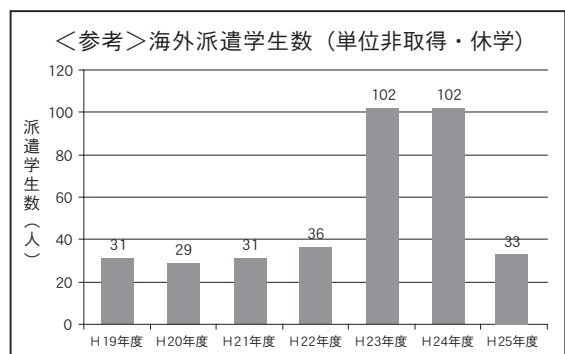


〔海外派遣学生(単位非取得・休学)〕

平成25年度

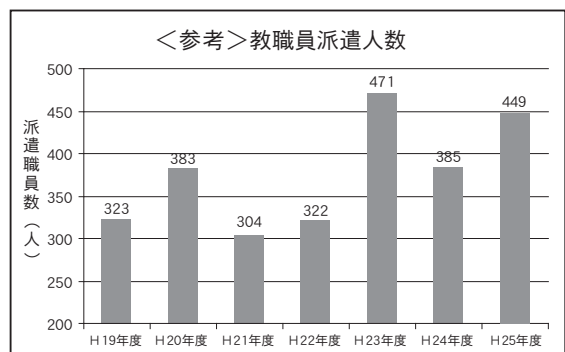
派遣国名	大学名	派遣学生数
ベトナム	ホーチミン市内企業	2
韓国	語学学 校	1
アラブ首長国連邦	R A Kカラーン農場	3
イギリス	語学学 校	1
カナダ	語学学 校	6
	フィンドレー大 学	1
アメリカ合衆国	ピッツバーグ大 学	12
	語学学 校	1
オーストラリア	語学学 校	2
ニュージーランド	語学学 校	1
その他	語学学 校, ティーチングアシスタント, ワーキングホリデー	3
合 計		33

※単位の取得に結びつかない留学、休学して行った留学等の学生数



〔教職員派遣〕

項 目	平成25年度
科学研究費補助金	126
寄附金	95
受託研究・受託事業	56
補助金	72
その他	100
計	449



〔外国人留学生数〕

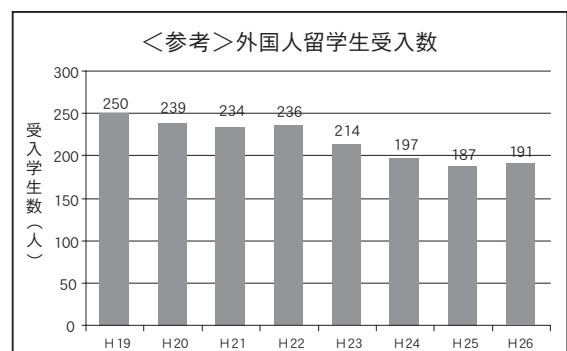
平成26年5月1日現在

	学費	学部学生			大学院生				研究生 (特別研究生を含む)			特別聴講学生 (科目等履修生を含む)		合計		
		教育地域 科学部	医学部	工学部	教育学研究科 修士課程	医学系研究科 博士課程	工学研究科 博士前期課程 博士後期課程		教育学研究科・ 教育地域科学部	医学系研究科・ 医学部	工学研究科・ 工学部	教育学研究科・ 教育地域科学部	工学研究科・ 工学部			
バングラデシュ	国私					2(1)		2 1			1			5(1) 1	6(1)	
インド	国私			1(1)										0 1(1)	1(1)	
マレーシア	政私			29(8)				3						32(8)	34(9)	
ミャンマー	国私					1(1)	1				1			1 0	1	
インドネシア	国私			1(1) 1									4(4)	1(1) 5(4)	6(5)	
フィリピン	国私							1(1)	1(1)					2(2) 0	2(2)	
大韓民国	国私	1					1(1)					1(1)	1	0 4(2)	4(2)	
モンゴル	国私			1										0 2(1)	2(1)	
ベトナム	国私			6(1)		1								0 7(1)	7(1)	
中国	国私	2(1)		14(2)	6(6)	2(1)	1 35(7)	3 10(4)				5(2)	23(19)	13(6)	6(1) 108(47)	114(48)
台湾	国私			1									3(3)	1	0 5(3)	5(3)
ラオス	国私									1				1 0	1	
ドイツ	国私												1(1)	0 1(1)	1(1)	
フランス	国私							1(1)					1(1)	1(1) 1(1)	2(2)	
オーストリア	国私												1(1)	1(1) 0	1(1)	
ルーマニア	国私								1(1)					1(1) 0	1(1)	
エジプト	政私									1(1)				0 1(1)	1(1)	
バブアニューギニア	国私						1							1 0	1	
イラク	国私							1						1 0	1	
合計	国			1(1)		4(2)	2	8(2)	4(2)		1	1(1)		21(8)	191(79)	
	政私			29(8)				4(1)						33(9)		
	私	3(1)		24(4)	6(6)	2(1)	37(8)	12(5)			6(3)	32(28)	15(6)	137(62)		
						39(8)	24(8)									
		3(1)		54(13)	6(6)	6(3)	63(16)		4(2)		7(3)	33(29)	15(6)		191(79)	
		57(14)			75(25)				11(5)			48(35)				

() は女子数で内数

〔外国人研究者等〕

項目	平成25年度	
受入・目的別	外国人教員・講師	52
	外国人研究者	16
	外国人受託研修員	11
計	79	



附属図書館

〔施設〕

平成26年5月1日現在

区分	総合図書館	医学図書館
総延面積(m ²)	5,346	3,307
閲覧室	1,108	1,705
書庫	1,875	
参考図書室		
特殊資料室	105	
郷土資料室	109	
視聴覚室		
グループ学習室	38	317
ラウンジ	71	38
事務室	188	216
資料整理室	86	
展示スペース	137	
AVスペース	105	
研修室	93	
大学資料室	75	
貴重書室	75	
読書センター・ラウンジ・ハブ	347	292
その他	934	739
閲覧座席数	400	427

〔館外貸出〕

平成26年3月31日現在

区分	総合図書館		医学図書館		合計	
	貸出人数	貸出冊数	貸出人数	貸出冊数	貸出人数	貸出冊数
学生	13,674	29,689	11,164	17,252	24,838	46,941
教員	1,570	4,308	299	718	1,869	5,026
職員	846	1,839	1,008	2,270	1,854	4,109
その他	486	1,006	338	687	824	1,693
計	16,576	36,842	12,809	20,927	29,385	57,769

(参考)

24年度末	16,256	36,139	11,816	17,977	28,072	54,116
23年度末	15,579	33,076	10,631	18,435	26,210	51,511
22年度末	16,675	31,163	10,538	18,921	27,213	50,084
21年度末	11,515	21,580	9,117	15,650	20,632	37,230
20年度末	8,819	17,830	9,758	16,600	18,577	34,430

〔相互貸借(図書貸借)〕

平成26年3月31日現在

区分	総合図書館		医学図書館		合計	
	借受冊数	貸出冊数	借受冊数	貸出冊数	借受冊数	貸出冊数
ILL	230	287	9	40	239	327
県内協定	174	175	26	24	200	199
計	404	462	35	64	439	526

(参考)

24年度末	480	412	40	84	520	496
23年度末	516	398	82	87	598	485
22年度末	576	446	206	87	782	533
21年度末	556	209	181	116	737	325
20年度末	380	48	168	115	548	163

〔蔵書冊数(分野別)〕

平成26年3月31日現在

	区分	総記	哲学	歴史	社会	自然	工学	産業	芸術	語学	文学	合計
総合図書館	和書	46,807	19,685	37,079	91,717	51,257	52,983	11,656	23,861	15,362	34,078	384,485
	洋書	13,961	8,755	6,014	15,227	44,174	22,730	1,731	5,085	5,858	11,697	135,232
	計	60,768	28,440	43,093	106,944	95,431	75,713	13,387	28,946	21,220	45,775	519,717
医学図書館	和書	2,366	2,579	733	4,346	50,557	845	285	927	1,347	1,629	65,614
	洋書	217	1,755	188	678	59,980	52	40	104	950	501	64,465
	計	2,583	4,334	921	5,024	110,537	897	325	1,031	2,297	2,130	130,079
合計	和書	49,173	22,264	37,812	96,063	101,814	53,828	11,941	24,788	16,709	35,707	450,099
	洋書	14,178	10,510	6,202	15,905	104,154	22,782	1,771	5,189	6,808	12,198	199,697
	計	63,351	32,774	44,014	111,968	205,968	76,610	13,712	29,977	23,517	47,905	649,796

(参考)

24年度末	和書	48,383	22,020	37,429	93,808	99,650	52,939	11,788	24,455	16,401	34,922	441,795
	洋書	13,945	10,504	6,180	15,797	103,509	22,744	1,770	5,164	6,767	12,154	198,534
	計	62,328	32,524	43,609	109,605	203,159	75,683	13,558	29,619	23,168	47,076	640,329
23年度末	和書	47,526	21,734	37,002	91,908	97,777	51,869	11,653	24,054	15,931	34,157	433,611
	洋書	13,641	10,452	6,159	15,662	102,782	22,703	1,769	5,158	6,738	12,128	197,192
	計	61,167	32,186	43,161	107,570	200,559	74,572	13,422	29,212	22,669	46,285	630,803
22年度末	和書	46,421	21,446	36,628	89,210	95,002	51,030	11,477	23,710	15,568	33,641	424,133
	洋書	13,387	10,429	6,140	15,521	101,886	22,627	1,766	5,121	6,553	12,077	195,507
	計	59,808	31,875	42,768	104,731	196,888	73,657	13,243	28,831	22,121	45,718	619,640
21年度末	和書	44,962	21,156	36,124	85,766	91,670	50,089	11,356	23,349	15,188	32,882	412,542
	洋書	13,104	10,392	6,110	15,412	100,897	22,527	1,761	5,034	6,457	12,049	193,743
	計	58,066	31,548	42,234	101,178	192,567	72,616	13,117	28,383	21,645	44,931	606,285
20年度末	和書	43,677	20,955	35,623	83,535	98,655	49,363	11,252	23,056	14,936	32,355	413,407
	洋書	12,481	10,319	6,076	15,293	100,035	22,359	1,754	4,964	6,404	12,005	191,690
	計	56,158	31,274	41,699	98,828	198,690	71,722	13,006	28,020	21,340	44,360	605,097

医学部附属病院

○設 置 昭和58年4月1日

○病 床 数 600床

○診療開始 昭和58年10月20日

○診療科数 26診療科

〔平成25年度診療科別病床数及び診療状況〕

診 療 科	病床数 (床)	診 療 状 況				
		外 来		入 院		
		患者延数	一日平均患者数	患者延数	一日平均患者数	稼働率(%)
血液・腫瘍内科	32	6,073	24.9	10,822	29.6	92.7
感染症・膠原病内科	4	3,824	15.7	934	2.6	64.0
神経内科	25	10,697	43.8	8,405	23.0	92.1
消化器内科	26	13,880	56.9	12,970	35.5	136.7
内分泌・代謝内科	12	9,221	37.8	4,401	12.1	100.5
呼吸器内科	22	6,516	26.7	8,898	24.4	110.8
腎臓内科	7	6,398	26.2	4,831	13.2	189.1
循環器内科	29	13,227	54.2	11,136	30.5	105.2
消化器外科	57	7,227	29.6	19,256	52.8	92.6
乳腺・内分泌外科	7	3,516	14.4	2,428	6.7	95.0
心臓血管外科	15	1,261	5.2	3,834	10.5	70.0
呼吸器外科	15	1,695	6.9	3,523	9.7	64.3
泌尿器科	27	15,381	63.0	7,547	20.7	76.6
皮膚科	12(8)	11,460	47.0	2,933	8.0	86.1
形成外科	0(4)	404	2.5	722	3.0	74.3
整形外科・脊椎外科	52	23,991	98.3	17,768	48.7	93.6
リハビリテーション科	8	28,731	117.8	2,808	7.7	96.2
眼科	27	20,913	85.7	8,889	24.4	90.2
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	33	21,638	88.7	11,339	31.1	94.1
歯科口腔外科	10	9,506	39.0	2,920	8.0	80.0
小児科	26	10,989	45.0	8,207	22.5	86.5
産科婦人科	32	11,012	45.1	9,835	26.9	84.2
神経科精神科	41	14,329	58.7	10,597	29.0	70.8
脳脊髄神経外科	35	4,920	20.2	9,523	26.1	74.5
麻酔科蘇生科	3	1,648	6.8	0	0.0	0.0
放射線科	4	8,739	35.8	0	0.0	0.0
救急部	6	13,700	56.1	2,533	6.9	115.7
共通	33	-	-	-	-	-
総合診療部・総合内科	0	2,651	10.9	-	-	-
中高年総合外来	0	2	0.0	-	-	-
アスベスト・中皮腫外来	0	0	0.0	-	-	-
禁煙外来	0	74	0.3	-	-	-
子どものこころ診療部	0	4,340	17.8	-	-	-
合 計	600	287,963	1,180.2	187,059	512.5	85.4

(備考) 診療実日数 外来: 244日, 入院: 365日

※外来患者延数及び一日平均患者数は, 入院中他科受診患者数を含む。

※病床数 皮膚科12床→8床, 形成外科0床→4床(平成25年8月1日付け)

※形成外科は, 外来: H25.8.1~H26.3.31 入院: H25.7.31~H26.3.31の数値である。

(参考)

診療科	診 療 状 況					外来診療日数	入院診療日数
	外 来		入 院				
	患者延数	一日平均患者数	患者延数	一日平均患者数	稼働率(%)		
平成24年度	283,672	1,157.8	189,524	519.2	86.5	245	365
平成23年度	283,652	1,162.5	187,985	513.6	85.6	244	366
平成22年度	280,175	1,153.0	183,628	503.1	83.8	243	365
平成21年度	276,890	1,144.2	186,333	510.5	85.1	242	365
平成20年度	270,854	1,114.6	183,073	501.6	83.6	243	365
平成19年度	271,590	1,108.5	190,941	523.1	86.9	245	366

平成24年度に係る業務の実績に関する評価結果

(1) 評価結果

項 目	業務運営の改善・効率化	財務内容の改善	自己点検評価・情報提供	その他業務運営
評 価 結 果	順調に進んでいる	順調に進んでいる	順調に進んでいる	やや遅れている

(2) 文部科学省国立大学法人評価委員会から注目されている福井大学の主な取組例(抜粋)

○法人経営体制の改善

大学改革を総括し具体案等を策定するため役員・学部長・学長特別補佐で構成する「大学改革推進特別会議」及び各理事を長とするワーキンググループを新設し、学長のトップマネジメントを効果的に発揮できる全学運営体制を構築している。

○ 共同利用設備の効率的な稼働

学内の共同利用設備をオンラインシステムに登録することにより効率的な利用を促すとともに、共同利用設備の件数を拡大し、地域企業などからの技術相談や共同研究にも活用されている。

○ 附属病院における経費の削減

毎月開催される附属病院経営戦略企画部会において、月次損益の報告を行い経営状況を把握するとともに、経営データに基づいた分析を行い、後発医薬品の採用促進、医療材料・医薬品の契約単価の見直し等を行った結果、対前年度比約1億5,700万円の経費削減となっている。

○ 多様なツールを駆使した情報発信

平成24年度より広報センター長を学長とするとともに、元新聞記者で私立大学の広報室長を歴任した者を参与に採用し、読み手を意識したプレスリリース、卒業生にスポットを当てた地元新聞へのシリーズ広告、ソーシャル・ネットワーキング・サービスの開設等、多様なツールを駆使した情報発信に取り組んでいる。

(平成24年度に係る業務の実績に関する評価結果の概要(国立大学法人評価委員会作成)より抜粋)

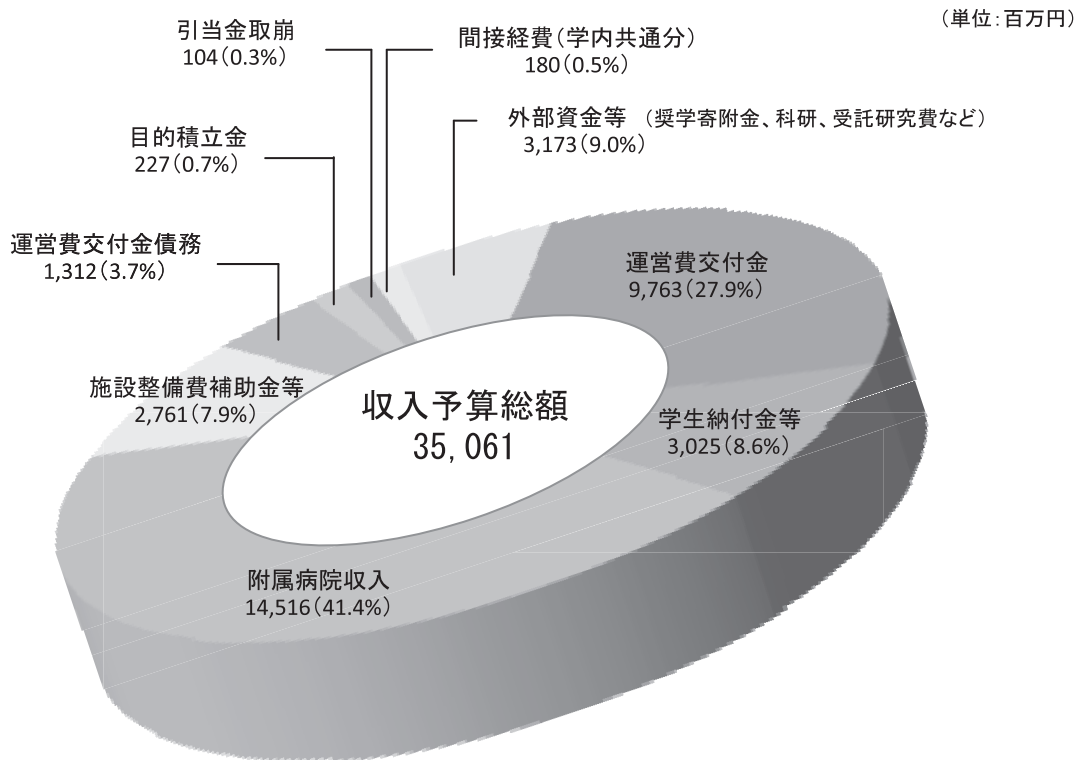
土地・建物

平成26年 5月 1日現在

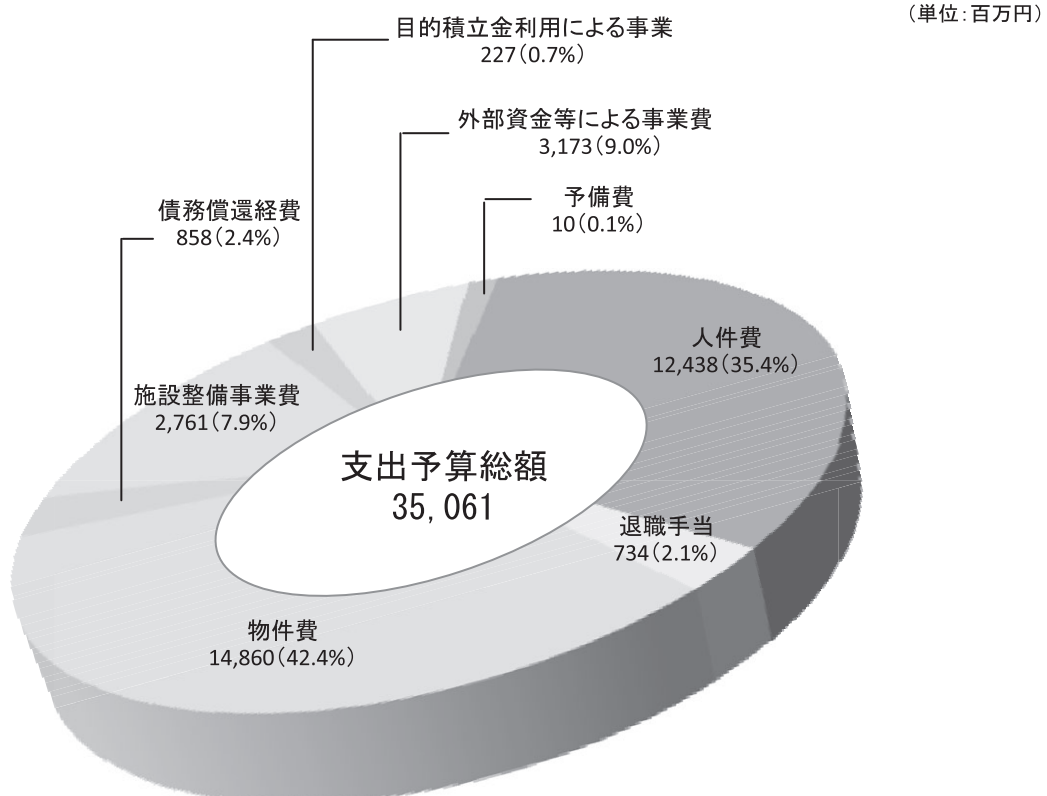
区 分	土地面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	建物延面積 (㎡)	所 在 地		
文京キャンパス	110,248			910-8507 福井市文京3丁目9番1号		
事務棟		501	1,461			
学生支援センター及び共用講義棟		2,730	5,612			
教育地域科学部 1号館, 2号館, 3号館, 音楽棟ほか		4,665	15,875			
教育実践総合センター		267	533			
工学部 1号館, 2号館, 3号館, 実験棟ほか		13,347	35,343			
超低温物性実験施設		343	694			
総合図書館		1,797	5,346			
産学官連携本部 (I号棟・II号棟)		859	3,556			
総合研究棟I		1,392	17,670			
学内共同教育研究施設 総合研究棟II (遠赤外線開発研究センター)		580	2,629			
総合情報基盤センター		448	846			
保健管理センター		208	354			
体育施設 第一体育館, 第二体育館, 弓道場ほか		2,040	2,302			
課外活動共用棟		408	1,551			
大学会館		486	972			
アカデミーホール (創立五十周年記念館)		523	625			
牧島荘 (非常勤講師宿泊施設)		377	589			
その他		745	756			
文京キャンパス小計		110,248	31,716		96,714	
松岡キャンパス	270,230			910-1193 吉田郡永平寺町松岡下合月23号3番地		
医学部 管理棟		1,239	3,093			
講義棟		2,860	4,817			
基礎実習棟		1,513	2,658			
基礎臨床研究棟		2,561	13,451			
病理解剖棟		479	479			
院生研究棟		756	3,743			
看護学科校舎		1,437	6,606			
生物資源棟		710	3,013			
RI施設		396	1,302			
医用サイクロン棟		130	130			
附属病院 外来・中央診療関係 西病棟 東病棟 RI治療棟 MRI-CT装置棟 高エネルギー治療棟 救急部		22,180	69,607			
臨床教育研修センター		576	1,109			
医学図書館		1,762	3,307			
学内共同教育研究施設 高エネルギー医学研究センター		707	1,236			
体育施設 体育館, 武道場, 弓道場		1,627	1,627			
福利施設 (厚生・課外活動)		652	1,282			
福利棟 (食堂)		480	480			
くずりゅう会館 (非常勤講師宿泊施設)		322	426			
保育施設		274	241			
その他 中央機械室		1,638	2,006			
焼却施設		168	168			
濃厚廃液処理施設		300	300			
多目的倉庫		103	103			
特高受電室		365	365			
RI排水処理施設		308	308			
塵芥庫等その他建物		919	978			
福井メディカルシミュレーションセンター		660	1,219			
ヘリポート棟		663	119			
松岡キャンパス小計		270,230	45,785		124,173	
屋外球技コート		6,329	60		121	910-0017 福井市文京3丁目10番1号
運動場		26,233	249		249	910-0017 福井市文京3丁目29番1号
野球場・総合自然教育センター		33,164	452		542	910-0055 福井市上伏町5字石畑9番
六呂師山荘 (借地:有償使用)	(1,482)	105	288	912-0131 大野市南六呂師 第169号東上谷野134		
附属幼稚園・小学校・中学校	40,071	7,278	12,011	910-0015 福井市二の宮4丁目45番1号		
附属特別支援学校	14,781	3,281	4,642	910-0065 福井市ハツ島町1字3		
寄宿舍 国際交流学生宿舎	5,893	1,479	4,600	910-0017 福井市文京5丁目13番10号		
留学生会館		323	1,035			
国際交流会館	松岡キャンパスに含む	491	698	910-1142 吉田郡永平寺町松岡兼定島34号14-1番地		
職員宿舎 看護師宿舎	松岡キャンパスに含む	1,069	4,093	910-1101 吉田郡永平寺町松岡樋爪23号34-1番地		
松本宿舎	1,343	310	433	910-0003 福井市松本1丁目1412番		
乾徳宿舎	812	232	919	910-0021 福井市乾徳4丁目5番30号		
丸岡宿舎	22,518	3,791	15,505	910-0337 坂井市丸岡町新嶋鹿2丁目100番地		
大願寺宿舎	5,662	784	3,542	910-0001 福井市大願寺1丁目1番30号		
国際原子力工学研究所	(5,700)	(2,328)	(6,997)	914-0055 敦賀市鉄輪町1丁目2街区4		
合 計	544,466	99,733	276,562			

() 内は借地で外数

〔平成26年度収入〕



〔平成26年度支出〕



〔主要な財務諸表の概要（平成24事業年度）〕

貸借対照表

(単位：百万円)

科目	平成24年度	前年度増減
■資産の部■	86,227	4,044
(主なもの)		
土地	42,278	0
建設等	20,649	2,724
設備・図書等	9,160	▲1,016
■負債の部■	27,120	3,752
(主なもの)		
借入金	7,400	1,023
資産見返負債	7,227	486
寄付金債務	3,726	265
運営費交付金債務	2,187	1,515
■純資産の部■	59,108	292
(主なもの)		
政府出資金	50,666	0
資本余剰金	1,901	293
前中期目標期間繰越積立金	4,819	0
目的積立金	903	213
積立金	820	392
当期末処理損失	▲1	▲605

注：単位未満は四捨五入しており、計は必ずしも一致しない。

損益計算書

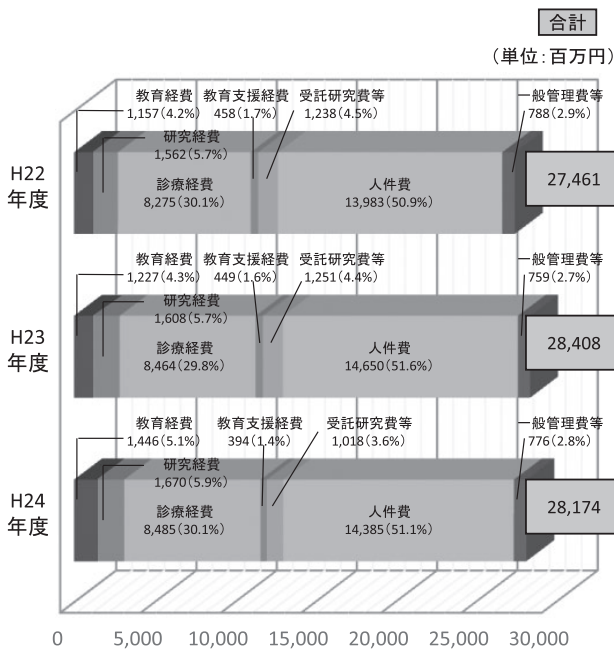
(単位：百万円)

科目	平成24年度	前年度増減
■経常費用■	28,173	▲235
(主なもの)		
人件費	14,385	▲265
診療経費	8,485	21
研究経費	1,670	62
教育経費	1,446	219
受託研究費	1,018	▲233
■経常収益■	28,182	▲889
(主なもの)		
附属病院収益	14,432	599
運営費交付金収益	7,599	▲1,588
学生納付金収益	2,861	31
受託研究事業収益等	1,021	▲242
◆経常利益◆	8	▲654
■臨時損失■	19	▲43
■臨時利益■	9	5
◆当期総損失◆	▲1	▲605

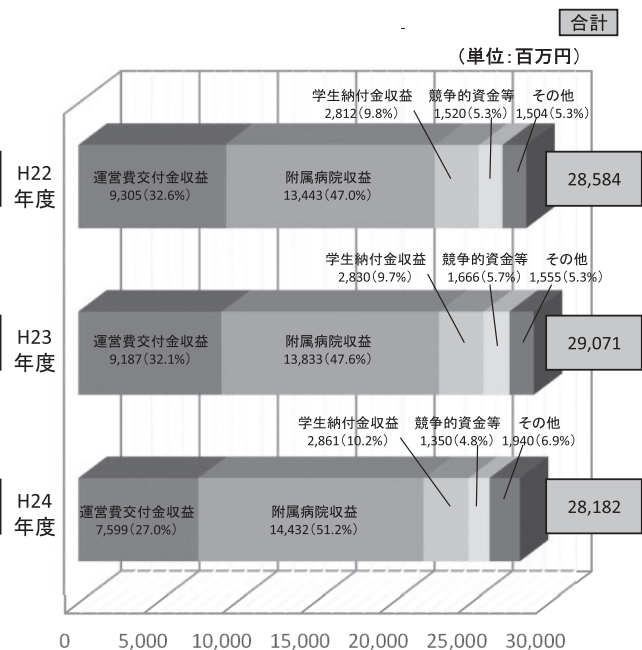
注：単位未満は四捨五入しており、計は必ずしも一致しない。

〔財務状況〕

経常費用の推移



経常収益の推移



※競争的資金等は、受託研究等収益及び寄付金収益の合計額

中期目標・中期計画等

中期目標		中期計画	平成26年度 年度計画
I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標 1 教育に関する目標 (1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標	【1-1】 アドミッションポリシーに沿った入学者選抜方法等の点検・改善を積極的に行い、それにふさわしい学生の入学を推進する。さらに、多様な学生の受入れに対応して、入学者の大学教育・生活への円滑な移行を支援する。また、学士及び大学院課程では教育の成果や社会ニーズを踏まえ、入学定員の在り方を検討する。	【1-1-1】 第1期中期目標期間に明確化したアドミッションポリシーにふさわしい入学者を受け入れるため、アドミッションポリシーや入試情報などの積極的な広報活動、入試状況・結果の評価に基づく入学者選抜方法の適宜点検・改善等を行う。さらに、教育の成果や社会ニーズ等に基づき、平成25年度末までに入学定員の在り方を検討する。	①本学のアドミッションポリシーを踏まえた積極的な入試広報活動を継続して行うとともに、その効果を検証し、広報活動の点検・改善を行う。 ②これまでの入学者選抜に係る評価及び調査並びに大学入試改革の動向等を踏まえ、入学者選抜方法の転換・改善を推進する。
		【1-1-2】 学士課程では、高大連携事業の推進や初年次教育の充実等を図り、入学生の大学教育・生活への円滑な移行を支援する。	①学士課程では、高大連携事業を推進するとともに、それぞれの部局等の特性に応じた、初年次教育や動機付け教育の企画・実施を進める。また、入学生の大学教育・生活への円滑な移行支援を更に向上させるため、これまでの成果の検証を踏まえて充実・改善を行う。
		【1-1-3】 大学院課程では、多様な学生を受け入れるよう、適切な入学者選抜方法や教育課程の整備、学習に専念できる体制の整備や積極的な広報活動等を進める。それら成果や社会ニーズ等に基づき、平成25年度末までに入学定員の在り方を検討する。	①大学院課程では改組を行った医学系研究科及び工学研究科を中心に入学者選抜方法の検証を行うとともに、教育学研究科修士課程の組織改革を目指す中で、様々な機会を利用した広報活動等を継続して行い、多様な学生の受け入れの推進を図る。
	【1-2】 基本目標「21世紀のグローバル社会において高度専門職業人として活躍できる人材の育成」を目指して、国際的にも通用する質の高い教育を実施する。	【1-2-1】 グローバルな視野を有する高度専門職業人を育成するため、教養教育を含め、カリキュラムポリシー・ディプロマポリシーを明確にする。策定されたカリキュラムポリシーに沿った体系的な教育課程を整備・点検・充実させる。併せて、本学の特徴的な教育課程・内容を積極的に導入・充実する。	①各部局の教育特性に沿った学士課程及び大学院課程に係る特徴的な教育課程・内容の整備・充実・実施に努めるとともに、グローバル人材育成を推進するための教育システムを検討する。
		【1-2-2】 高度専門職業人として備えるべき能力を涵養し、高い学習成果を得るために、多様な教育方法・形態の積極的な工夫・導入や単位の実質化を行う。	①学士課程及び大学院課程におけるそれぞれの部局等の教育目的に沿って、高度専門職業人として備えるべき能力の涵養に資する、多様な教育方法・形態の積極的な工夫・導入を進めるとともに単位の実質化を図るため教育改革に取り組む。また、グローバル人材育成を推進するために、昨年度に引き続き、整備した語学センター施設の活用を英語教育改革の推進と合わせて進める。
		【1-2-3】 カリキュラムポリシーやディプロマポリシーに基づく到達目標（学習成果）を達成できるよう、学習目標や成績評価基準の明確化や多面的な成績評価方法を導入し、「学士力の保証」等を担保する成績評価を行う。	①多面的な成績評価方法の策定・導入を目指した検討を進めるとともに、「学士力の保証」を担保しているか検証する。
		【1-2-4】 本学の特性を活かし、他機関との連携も図りつつ、教職大学院、画像医学、原子力工学などの教育を推進する。	①教職大学院では、附属学校と学部と大学院の三位一体の教師教育改革を実現すべく、研究実践型教員を採用し、附属学校園への教職大学院機能の一部移設、及び管理職養成への準備を行う。 ②「先進イメージング教育研究センター」を中心に、引き続き画像医学教育を推進する。 ③前年度に作成された大学院工学研究科原子力・エネルギー安全工学専攻の新カリキュラムを実施する。
		【1-2-5】 教育地域科学部・教職大学院・附属学校園を平成27年度までに結合して、教師の生涯にわたる職能成長を支える研究実践型教師教育システムを構築するとともに、豊富な実践経験を有する教員を採用し、管理職養成を含め、理論と実践の融合による新たな教師教育を推進する。	①教師の生涯にわたる職能成長を支える研究実践型教師教育システムの構築をめざし、実践経験豊かな研究実践型教員の採用を開始し、実践の理論と融合した新たな教師教育を推進するとともに、学校改革マネジメントを中心とするカリキュラムの開発に着手する。また、附属学校園と教職大学院との結合のための組織・環境整備を進める。

中期目標		中期計画	平成26年度 年度計画	
I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標	1 教育に関する目標			
	(2) 教育の実施体制等に関する目標	<p>【2】 質の高い教育を実現するため、教育内容・方法や成果を点検・評価するシステムを構築し、不断に改善を行う教育実施体制を整備する。</p>	<p>【2-1】 教育内容・方法等を質的に向上させるため、FD活動を積極的にを行うとともに、定期的な教育評価を実施し、その結果を積極的にフィードバックする体制を構築する。また、国際的な視野からの評価を実施し、必要な改善を図る。なお、平成25年度末までに様々な意見聴取などによって、教育内容・方法・実績などを検証し、それに基づき教育の質的向上を図る方策を策定する。</p>	<p>①FD・SD活動を継続・発展させながら、教育の質的向上を図る。さらに、昨年までに実施した海外ベンチマークの情報を活かした、全学のカリキュラム評価の体制の検討を行う。</p> <p>②各部局で実施している教育に関する評価の検証と改善、国際的なベンチマーキングの成果を反映させ、全学的な教育評価の方法とフィードバック方法の見直しを行う。</p> <p>③学生や教員など関係者への定期的な授業評価等を通じた意見聴取する新たな仕組みを検討し、更に教育の質的向上を図るよう、学外関係者も加えた評価の方策を策定し、可能な部分から実施する。</p>
	(3) 学生への支援に関する目標	<p>【3】 社会を主体的・能動的に担っていく人間の形成を目指して、学生の成長を積極的に促す学習支援、生活支援、就職支援を行う大学づくりを進める。</p>	<p>【3-1】 学生が自主的な学習活動を展開出来るように、よりよい修学支援の在り方を含め、学生の修学環境等の維持改善を進める方策を実施する。特に学生支援センターや図書館等を中心として、組織的な対応体制の整備・充実を図り、関係者の満足度の高い学習支援体制の構築や取組みを進める。</p> <p>【3-2】 学生の成長の場としての大学にふさわしい環境づくりに努める。特に、保健管理センター等を中心として、メンタルヘルスに関する予防的取組みを含む健康相談・学生相談や学生の成長発達を支援する体制を整備し、関係者の満足度の高い生活支援体制を整備・充実させる。</p> <p>【3-3】 就職支援室を中心として、積極的な就職支援を推進し、卒業生・修了生の高い就職率を維持する。また、各学部・研究科の実情に即し、キャリア教育を地域社会等と協働し、実践する。</p>	<p>①学生支援センターを中心として、学生アンケート結果、学生の意見等を大学の運営に反映する仕組みを検討する。また、修学環境等の維持改善を進めるため、学習活動を支援する全学的な修学支援体制の整備・充実を図る。</p> <p>②附属図書館等では、自主学習のために整備された環境を機能的に活用するために学生との協働による修学支援体制を構築する。また、利用者の意向や意見が反映されているか点検を行なう。</p> <p>①整備した健康相談・学生相談や学生の成長発達を支援する体制について、連携体制や学生への周知状況、支援内容等について検証した結果に基づき、可能なものから、改善を行う。</p> <p>②各学部では、それぞれが整備した学生支援体制により支援を進めるとともに、全学的に学生総合相談室、保健管理センター及び学生支援センターなどが連携（分担）し、随時、関係者への意見聴取等を行い、学生への生活支援を進める。</p> <p>①きめ細かい就職支援を積極的に推進し、現行のインターンシップ制度の見直しと学生の積極的参加を図るとともに、就職ガイダンスの充実を図る。キャリア支援・実践教育の充実に関し、各学部・研究科との連携体制の強化を図る。</p> <p>②各部局の特性に応じたキャリア教育の実施・点検・改善を進め、全学的なキャリア教育の充実を目指すとともに体制の見直しを行う。</p>

		中期目標	中期計画	平成26年度 年度計画	
I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標	2 研究に関する目標 (1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標	【1】 独創的かつ特色のある重点研究を推進し、国際・国内研究拠点の形成を目指す。	【1-1】 分子イメージングを始めとする先端のライフサイエンス研究、原子力工学研究及び遠赤外領域開発・応用研究などを重点的に推進する。	①引き続き、各部署、連携する各部署間等において、重点研究を推進する。また、進捗状況を検証し、重点研究の国際・国内研究拠点化の推進に向けた支援を実施する。	
			【2】 科学技術の発展に寄与する学術研究を推進する。	【2-1】 生体における分化・増殖などの情報伝達・制御機構、高次生体システムの発達・構築とその維持機構、及びそれらの異常の解明を通じ、生まれ、健やかに育ち、老いる過程に関する世界的に優れた研究を行う。	①医学部・医学系研究科を中心として、生まれ、健やかに育ち、老いる過程に関する医学研究を重点的研究分野に位置づけ、優れた研究を奨励するとともに、世界的視野のもとこれら分野の優れた医学研究を推進する。
				【2-2】 PET, MRI 等の生体画像技術を基盤とする分子プローブ、画像解析法、生体機能解析法等の開発、及びそれらを用いた生命現象の解明並びに臨床医学への応用に関する世界的に優れた研究を行う。	①分子イメージング研究を進展させ形態画像と機能画像の融合による新たな画像診断システム (FRAP) を展開し、基礎研究・臨床研究を通じて国際分子イメージング研究教育拠点の確立を目指す。がん治療に直結する腫瘍分子イメージングの高度な臨床展開を推進するとともに、脳機能の発達解明および脳変性疾患の病態・治療に関する研究に取組む。
				【2-3】 物質・生命・システム各系の分野において、世界的に優れた学術基盤研究・発展研究を推進する。	①工学研究科では、研究活動の基礎となる基盤経費の配分水準とコアジャーナルなどの学術情報基盤を維持し、これまでに構築された研究活動の支援体制を活用することで、物質系、生命系、システム系の各分野において、世界的に優れた学術基盤研究・発展研究を推進する。
				【2-4】 世界的に優れた高出力遠赤外光源開発、遠赤外新分光・計測研究、遠赤外領域物性研究及び高出力遠赤外新技術開発研究を推進する。	①引き続き、ジャイロトロンさらなる高度化を進めるとともに、遠赤外・テラヘルツ波科学における応用研究を推進する。
				【2-5】 原子力工学関連分野における世界的に優れた研究を推進する。	①附属国際原子力工学研究所では、工学研究科と共同で、高速炉研究を実施するとともに、より安全な原子力システムの実現に向けた研究や原子力防災・危機管理、廃止措置に関する研究を推進する。
		【3】 地域・社会へ貢献する実践研究を推進する。	【3-1】 疾病克服に挑み、生活の質 (QOL) と健康維持を含む福祉の向上に寄与する、ライフサイクルにわたる先端的・実践的医学研究を展開する。	①医学部・医学系研究科を中心として、ライフサイクルにわたる先端的・実践的医学研究の推進体制の構築・整備を進め、本分野の研究を推進する。	
			【3-2】 教師教育研究を含む実践的教育研究、地域科学研究及びそれらに資する基礎萌芽研究を行い、地域・学校との共同研究を推進する。	①教育実践とその研究が一体となった研究実践者教員の雇用を促進し、附属学校園と結合した教師教育研究と、学校改革マネジメントのコースの創設に向けカリキュラムの検討を進める。 ②引き続き、研究支援体制や支援施策を充実させるとともに、学校・地域と連携した実践的教育研究、地域科学研究、及び両研究に資する基礎萌芽研究を推進する。	
			【3-3】 附属学校園の特色を活かした機能的統合により校種の壁を越えた、理論と実践の融合に基づく新たな教師教育研究を推進する。	①附属学校園の特色を活かした機能的統合により校種の壁を越えた、理論と実践の融合に基づく新たな教師教育研究を推進する。	
			【3-4】 産学官民と連携し、産業とくらしに関わる分野において、地域・社会の活性化に資する研究を推進する。	①工学研究科では、研究支援体制の整備等を通じ研究組織の活性化策を検討し、産業とくらしに関わる分野において、産学官民連携による共同研究などの研究成果の水準の維持・向上を図る。	

		中期目標	中期計画	平成26年度 年度計画	
I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標	2 研究に関する目標	(1) 研究成果の還元 【4】 社会のニーズを踏まえ、地域の産業界・自治体等と連携し、本学の特色を生かした研究成果を社会に還元する。	【4-1】 効率的かつ効果的な運用が行える知財体制を構築し、技術移転を加速・拡大するとともに、海外機関との共同研究など国際化に対応できる体制を構築する。	①知的財産部の活動を中心に、知的財産の活用を促進する。 ②国際産学官連携ポリシーに基づく各種活動を推進する。	
			【4-2】 社会のニーズと大学の研究成果の効果的・効率的な結びつきを促進するとともに、地域イノベーションを目指す産学官連携研究拠点の形成を図る。	①シーズ集等の充実、新技術説明会や成果展示会等の開催により、社会のニーズと大学の教育・研究成果の効果的・効率的な結びつきを促進するとともに、CSF（コンサルティング&ソリューションファクトリ）の運用を開始する。 ②地域産学官共同研究拠点を中心に、エコ・エネルギーマテリアルクラスターを創成する。	
	(2) 研究実施体制等に関する目標	【5】 研究面でのグローバル化を図り、特色ある研究成果を世界に向け発信するための体制及び環境を整備する。	【5-1】 国際的共同研究及び人的交流を推進するための体制及び環境を整備する。	①引き続き、策定した国際的共同研究及び人的交流推進のための戦略や施策を見直しをかけながら、実施する。	
			【6】 教員個人及び組織の研究目標の達成並びに新たな研究分野の開拓に向け、適切な研究体制及び環境を確保する。	【6-1】 大学、学部などの枠を超えた様々な連携体制を構築する。	①全学及び各部署は、引き続き国内共同研究や多様な学内共同研究を実施するとともに、これらに係る支援施策を強化し、実施することで連携体制の構築に繋げる。
				【6-2】 学内資金として基盤的研究経費及び競争的研究経費を確保し、評価に基づき適切に配分するとともに、科研費を始めとする外部資金の獲得を推進する。	①引き続き、基盤的研究経費及び学長裁量経費による重点的な研究経費等を確保し、研究の評価に基づく配分を行い、外部資金の獲得を推進するための、戦略的な研究経費支援の配分について検討し、実施する。 ②引き続き、外部資金獲得のための支援等の検討を行い、URA オフィスと各関係部署が連携して支援体制を構築し、支援施策を実行する。
	研究の質の向上	【7】 研究水準の向上を図るため、適切な評価を実施する。	【6-3】 附属図書館、学内情報ネットワーク等の全学共通研究インフラを維持・充実する。	①学術情報基盤である電子ジャーナルや文献データベースについて、アクセスコスト（費用対効果）を勘案しつつ、効果的な活用を図るとともに、所蔵資料を対象とした電子図書館の充実を継続する。 ②共通無線 LAN 設備の整備を進めるとともに、基幹 LAN 設備の安定的運用のための施策等を引き続き検討する。	
			【7-1】 研究の質・量に関し多面的な評価を実施し、研究資源配分を含め適切にフィードバックするシステムを構築する。	①引き続き、評価結果に対するフィードバックとして、各個人や組織に適切なインセンティブの付与や研究資源の配分を行う。	

		中期目標	中期計画	平成26年度 年度計画
I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標	3 その他の目標 (1) 地域を高く評価する目標	【1】 地域社会と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究を推進する。	【1-1】 「地域の地（知）の拠点」として、全学的な教育カリキュラムの改革を行い、学生の地域に関する知識・理解を深めるとともに、地域社会と大学が協働して課題を共有し、地域の課題（ニーズ）と大学の資源（シーズ）の効果的なマッチングによる地域の課題解決に向けた取組を進める。	①地域の地（知）の拠点形成に向け、地域を志向した全学的な教育カリキュラム改革を検討するとともに、地域の課題解決に向けた取組を行う。
		【1】 地域の知の拠点として、高度な知的資源を社会に還元する。	【1-1】 地域ニーズを的確に把握し、大学の持つ知的資源を有効に社会還元できる全学の体制を整備・充実する。 【1-2】 教育、研究、診療活動などの成果を広く社会に情報発信し、成果を社会へ還元する。	①COC事業の推進も含め、地域ニーズの把握及び本学の知的資源の社会還元を一層推進する。 ①引き続き、教育、研究、診療活動などの成果を広く社会に発信する。
		【2】 地域との連携などによる生涯学習とキャリアアップ学習を推進する。	【2-1】 一般市民を対象とした公開講座や市民開放プログラムに加え、地域での活動を担う市民・職業人の学習を積極的に支援する。	①一般市民を対象とした公開講座やキャリアアップ学習等を積極的に実施する。
		【3】 地域との連携などにより、地域の活性化等に貢献する。	【3-1】 地域を構成する一員として、地域の活性化に繋がる多様な教育、研究、診療活動などを推進するとともに、地域、関係機関等と連携し、国際交流を通じた社会貢献を行う。 【3-2】 附属学校を含む拠点校における教師教育やその他関係各校への授業改善の支援などを展開し、地域の教育力の向上に寄与するとともに、協働・支援のシステムの全国モデル化を推進する。	①COC事業を積極的に活用し、地方公共団体等と連携しながら、地域貢献策を推進する。特に地域医療に関しては、福井県他関係機関と連携した取組を推進する。 ②行動計画に基づく取組の実施により、国際交流活動を推進するとともに、新しい発展性について検討を継続する。
	(3) 附属病院に関する目標	○教育・研究面 【1】 地域及び国際社会の先端で活躍する自立した教育・研究能力を有する優れた医療人を養成・輩出し、高度かつ先端的医療の研究開発を遂行する教育研究環境を整備して、国際社会や地域社会の明日の医学医療に貢献する。	○教育・研究面 【1-1】 地域及び国際社会に貢献できる卓越した教育・研究能力を有する医療人の養成プログラムを構築し、がん医療やER型救急医療、緊急被ばく医療、国際災害外科医療などの高度な教育を行う。 【1-2】 治験・先進医療センターの充実を図り、高エネルギー医学研究センター等との緊密なる連携のもとに、わが国の今日的問題を解決するための先進医療の研究開発を推進する。	①ER型救急医療、緊急被ばく医療などの医療人養成プログラムについて、検証を行う。また、がんに係わる専門教育を実施する。 ②卒前教育・卒後臨床研修におけるシミュレーション教育を充実させるため、引き続き教育環境を整備し、実技研修を行う。 ①治験・先進医療センターと高エネルギー医学研究センター等との連携のもとに、先進医療の研究開発を推進する。
		○診療面 【2】 社会的要請の強い医療分野の充実を図り、高品質で高い安全性を有する医療を提供する。	○診療面 【2-1】 臓器・疾患機能別に病棟を集約化し、医療を効率的に提供するとともに、災害時の拠点病院としての機能を強化する。 【2-2】 がん・生活習慣病・周産期医療など、社会的要請の強い医療分野での診療体制を整備・充実して、高度な医療を提供する。 【2-3】 医療安全・危機管理体制を強化し、安全・安心な医療に努める。 【2-4】 患者のニーズを踏まえ、安心で快適な診療環境を提供する。	①臓器・疾患機能別病棟・センターの移転計画を確実に実施するとともに、既存棟改修計画を確定する。また、災害時における救護体制を整備する。 ①がん・生活習慣病等に関する情報を発信し、地域住民への貢献を図る。 ②低侵襲で優しい高度な医療を推進する。 ①データベース化機能を備えたオカレンスレポートシステムを活用して、発生したオカレンスの根本分析業務等の効率化・迅速化を図るとともに、根本分析やリスク評価を行える人材育成を行う。また、外来の再整備計画時に感染症対策病室（陰圧）の配備・拡充について要望等を行う。 ①患者満足度調査及び患者からの要望等について分析を行い、対応策を院内に周知徹底する。また、患者、家族及び職員に対するアメニティの向上を図るため、引き続き検討を行う。

中期目標		中期計画	平成26年度 年度計画	
I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標 3 その他の目標	(2) 附属病院に関する目標	<p>○運営面 【3】 堅固な経営基盤を構築するため、環境の整備・経営改善を推進する。</p>	<p>○運営面 【3-1】 病院運営体制・環境整備の充実を図り、病院長のリーダーシップの下、迅速な意思決定による病院運営を推進する。</p> <p>【3-2】 外部評価に基づく病院機能の継続的な改善を行う。</p> <p>【3-3】 地域の中核医療機関として、他の医療機関との連携を強化する。</p> <p>【3-4】 月次損益、診療科別目標値達成状況等から経営状況をタイムリーに把握し、増収に向けた戦略を策定・実施するとともに、病院収入を踏まえた診療経費等に関する分析を行い、経費削減に向けた改善策を実施する。</p>	<p>①病院長のリーダーシップの下、病院執行部会等による意見・助言等に迅速に対応し、病院運営に反映させる。また、医療現場のニーズ等に考慮した職場環境の向上を病院再整備計画に反映させる。</p> <p>① ISO9001を継続し、引き続き病院機能・質を維持する。</p> <p>①地域医療機関等からのニーズを把握するとともに、地域医療機関等との連携を強化する。</p> <p>①経営状況をタイムリーに把握するために、月次損益を作成する。また、経営データ等に基づき分析・検討を行い、増収に向けた戦略の策定や診療経費等の削減に向けた改善策を実施する。</p>
	(4) 附属学校に関する目標	<p>【1】 地域における先進的な教育実践と研究の中心として、大学教員と附属4校園の協働体制のもと、学校教育法の理念と幼児・児童・生徒の状況に即した教育の実践と研究を行うとともに、教職大学院の拠点校として、長期実習を中核とした学生の実践力向上と教師教育を推進し、地域に開かれた学校づくりを目指す。</p>	<p>【1-1】 学習指導要領の改訂を踏まえて、附属幼稚園・小学校・中学校では幼一小一中、附属特別支援学校では小一中一高の計12年間を見通した教育理念・方針を策定し、これに基づく実践と研究を推進する。</p> <p>【1-2】 今日的な教育課題である不登校児や特別な支援を必要とする発達障害等の幼児・児童・生徒の支援体制を構築し、保護者や学外機関とも連携しながら、子ども一人ひとりの成長・発達や状況に配慮した教育を推進する。</p> <p>【1-3】 附属学校園をフィールドとした大学教員の研究を積極的に進め、確かな実践力を培うための学生実習や教師教育の体制を策定するとともに、教育先進校としての地域貢献を推進する。</p> <p>【1-4】 平成27年度までに附属学校園を機能的に統合するとともに、附属学校園・学部・大学院の結合により協働体制を強化し、教師教育研究と学校づくりを推進する。</p>	<p>①学校改革会議において策定した12年間を見通した教育理念・方針をもとに、専門の大学教員との連携を強化しながら検討を進めてきた。幼一小一中（特別支援学校においては小一中一高）のカリキュラムの接続や年間行事計画等を作成し、試行する。</p> <p>①特別な配慮が必要な子どもの総合的支援、並びに潜在的に教育相談を必要とする子どもの早期発見と支援を目的に、附属4校園が協働して、支援体制の整備と充実を図るだけでなく、大学教員や学外の専門家も加えて校内委員会を組織し、情報交換及び共有に努める。また、個に応じた移行支援シート等を作成し、12年間を見通した支援を推進する。</p> <p>①地域の教育先進校として、保護者や地域住民を対象とした講演会・相談会等を開催し、相互の交流や連携を強化するとともに、附属学校園の実践を広く公開して意見を求め、地域に開かれた学校としての役割を果たし、地域貢献をさらに推進する。</p> <p>②教員養成の拠点校として、学部学生及び大学院生の実践力育成を進めるとともに、地域のモデル校として、大学教員や公立学校教員との研究会、教員免許更新講習などへの協力等を継続する。教職大学院の中核的拠点校として長期インターンシップの受け入れ、教育学研究科・学部の特別なプログラムや附属教員の学外派遣等を通じ、教員の質の向上に資する教師教育支援を継続・推進する。</p> <p>①「三位一体の改革に係る役員と学部代表者との協議会」を発足させ、大学および附属学校園の教職員の共通理解を深めながら、改革の全容と段階的移行について具体的に検討する。また、「改築工事小委員会」を設け附属小学校・中学校の改修計画と環境整備プランを作成するとともに、「附属組織改革小委員会」を組織し、教員組織の再編等について検討する。</p>

中期目標		中期計画	平成26年度 年度計画	
Ⅱ 業務運営の改善及び効率化に関する目標	1 組織運営の改善に関する目標	【1】 本学の教育研究医療及び社会貢献上の使命を果たすため、学長をトップとするガバナンスの在り方、学長のリーダーシップを支える体制や裁量的予算・人件費、学外者の意見の効果的な活用、教育研究組織の在り方などについて継続的に点検・改善を行う。	【1-1】 第1期中期目標期間中に構築した法人の経営体制について点検を行い、学長のトップマネジメントによる効果的な大学運営を推進する。 【1-2】 学長のリーダーシップの下で、教育研究組織の見直しや学内資源の再配分等を戦略的・重点的に行う。 【1-3】 多様な人材を確保するため、人事・給与システムの弾力化に取り組む。特に、適切な業績評価体制を整備し、年俸制を導入・促進する。	①法人の経営体制について点検を行い、効果的な大学運営を推進する。 ①ミッションの再定義等を踏まえ、学長のリーダーシップの下、教育研究組織の見直しを進め、学内資源の再配分等について、可能なものから戦略的・重点的に実施する。 ①国立大学改革プラン等を踏まえ、教育研究の活性化につながる柔軟な年俸制給与制度を整備し、年俸制給与が可能な承継職員等に導入する。
		2 事務等の効率化・合理化に関する目標	【2-1】 「組織はひと」という観点から、第1期中期目標期間中に改革した事務局職員の採用・研修・評価等の在り方を点検・改善し、一層のひとづくりを推進する。また、機動的な事務局づくりを行うためのPDCAサイクルを確立させ、組織・業務の見直しを含めた事務局改革を推進する。これらの目的を実現するため、平成22年度末までに職員による大学職員理念（仮称）を策定し、23年度までにひとづくりを含めた事務局改革のための新たな手法を検討し、改革の準備を進める。24年度から26年度に改革を実施し、27年度に活動成果を点検し必要な場合調整・改善を行い、次期期間に繋げる。	①経営品質に準じた改革手法により事務局改革を推進し、成果のセルフアセスメントを行う。
			【2-2】 事務情報化による電子事務局構築を推進する。電子事務局構築に必要な調査検討を23年度までに行い、可能な電子化を24年度以降進め、27年度には導入成果の総括を行う。	①新グループウェアを活用し、可能なものから電子化を推進する。
	Ⅲ 財務内容の改善に関する目標	1 外部研究資金、自己収入の増加に関する目標	【3-1】 外部研究資金、寄附金その他の自己収入獲得に必要な支援体制の見直しを行い、外部人材の活用を含め、より機動的な支援が可能となるよう体制の強化を推進する。	①引き続き、URA オフィス等を中心として、外部研究資金、寄附金その他の自己収入獲得に必要な支援戦略を策定し、可能なものから整備を行う。
【4-1】 月次損益、診療科別目標値達成状況等から経営状況をタイムリーに把握し、増収に向けた戦略を策定・実施する。			①月次損益、診療科別目標値達成状況等から経営状況をタイムリーに把握するとともに、増収に向けた戦略を策定・実施する。	
2 経費の抑制に関する目標		【5-1】 「簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律」（平成18年法律第47号）に基づき、国家公務員に準じた人件費改革に取り組み、平成18年度からの5年間において、△5%以上の人件費削減を行う。更に、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2006」（平成18年7月7日閣議決定）に基づき、国家公務員の改革を踏まえ、人件費改革を平成23年度まで継続する。	①政府の方針を注視しつつ、国家公務員の改革を踏まえ、必要に応じて人件費改革を継続する。	

		中期目標	中期計画	平成26年度 年度計画
Ⅲ財務内容の改善に関する目標	2 経費の抑制に関する目標 (2) 人件費以外の経費の削減	【6】 民間的手法などを参考とし、調達コストの抑制に努めるとともに、本学の経営戦略上重要な経費を除き、管理的経費の削減努力を継続的に進める。	【6-1】 民間企業のノウハウ導入、コスト意識の徹底、改善活動、省エネ活動、他大学との情報交換などを通し、調達コストの抑制に努めるとともに、広報費や研修費用など本学の経営戦略上重要な経費を除く管理的経費の削減努力を継続的に進める。 【6-2】 病院収入を踏まえた診療経費等に関する分析を行い、経費削減に向けた改善策を実施する。	①引き続き、コスト意識の啓発及び調達コストの削減に努め、経営戦略上重要な経費及び経営上やむを得ない経費等を除く管理的経費の削減努力を進める。 ①経営データ等を活用し、診療経費等の削減に向けた改善策を検討・実施する。
	3 資産の運用管理の目標 改善に関する目標	【7】 流動資産及び固定資産の効果的な管理運用を推進する。	【7-1】 運用可能な資金に関しては、第1期中期目標期間中の資金運用指針、具体の運用に対するレビューを行い、外部専門家の助言も踏まえ、より効果的な資金運用方法を検討し、可能な方策を実施する。また、大学が保有する固定資産（特に建物・設備など）の点検評価を行い、効果的・効率的な運用を図る。	①運用可能な資金の効果的な運用を行うとともに、新たな金融商品による運用について引き続き検討を行う。また、管理システムを活用し、大学が保有する固定資産（特に建物・設備など）の効果的・効率的な運用を図る。
	1 評価の充実に関する目標	【8】 教育研究の活性化や大学運営の継続的な改善に向け、評価を積極的に活用する。	【8-1】 教員と教員以外の職員に係る個人評価制度の整備・充実を図り、一層の業務の活性化に繋がる評価制度を構築する。また、各事業等に係る資源配分結果を検証し、教育研究の活性化や大学運営の改善を推進する。	①教員及び教員以外の職員の個人評価制度の検証・見直しを継続する。 ②引き続き、評価に基づく資源配分を実施する。
Ⅳ自己点検評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標	2 発信等の推進に関する目標 情報公開や情報	【9】 国民に支えられて成立している国立大学法人であることを踏まえ、教育研究等成果の社会への還元を積極的に推進する。	【9-1】 本学の教育研究等活動の成果や運営状況に係る情報発信等の在り方をレビューし、必要な改善策を積極的に推進する。	①引き続き、必要な改善策を可能なものから実施する。
	1 施設設備の整備に関する目標 その他業務運営に関する重要目標	【10】 施設設備面におけるマネジメントの強化により、施設等の整備・有効活用を促進し、教育研究環境を充実させる。	【10-1】 第1期中期目標期間中に策定や実施を進めた施設マネジメント体制、キャンパスマスタープラン、施設設備の整備・活用等について点検・改善を進め、効果的な施設設備の整備・活用等を行う。	①「キャンパスマスタープラン2012」に基づき、施設等の整備・有効活用を図る。また、既存設備の点検を行い、設備整備計画に反映させる。
	2 安全管理に関する目標	【11】 安全管理を含む危機管理体制を点検し、危機管理体制を充実させる。	【11-1】 学生の修学環境、職員の職場環境の改善を行うとともに、第1期中期目標期間中に構築した危機管理体制について、経営上のリスクマネジメントの観点から点検し、危機管理体制の維持改善を推進する。点検は平成22年度から23年度にかけて実施し、必要な改善を24年度以降実施する。	①引き続き、これまでの点検結果に基づき学生の修学環境、職員の職場環境の改善・改修を行うとともに、点検を実施してさらに改善を推進する。 ②危機管理体制に係る点検結果に基づき、引き続き、必要な維持改善を行う。
		【12】 情報の適正な管理を行うため、情報セキュリティ体制の充実強化を図る。	【12-1】 情報システムの管理運用に係る規程等について必要に応じて見直しを行うことや、情報セキュリティに関する職員の意識向上を図ることなどにより、情報セキュリティ体制の充実強化を進める。	①情報セキュリティ体制の充実に資するため、情報システム運用関連規程の点検を引き続き実施し、情報セキュリティに係る職員の意識向上のための研修会等を実施する。
	3 法令遵守に関する目標	【13】 適正、適切な法人経営に資するため、法令遵守体制の点検、改善、充実を進める。	【13-1】 監査機能を含めた法令遵守（コンプライアンス）体制について、点検や見直しを行い、必要な改善や充実を行うとともに、法令遵守に関する職員の意識の向上を図るため、講習会などを実施する。	①法令遵守に関する職員の意識啓発を行うとともに、法令遵守体制の点検・見直しを継続する。

平成26年 6 月23日発行

福井大学総合戦略部門経営戦略課

〒910-8507 福井県福井市文京 3 丁目 9 - 1